

刊行に際して

平成23年度の筑波大学附属学校教育局データ集をお届けします。このデータ集は、平成22年度から刊行を始め、本集は、2刊目になります。基本的内容は、昨年度のものに沿っていますが、本学の第Ⅱ期中期目標・計画に掲げた3つの具体的な措置についてまとめてあります。3つの具体的な措置とは、①大学と附属学校との連携に関する措置、②初等中等教育の教育拠点形成に関する措置、そして③特別支援体制の総合的支援体制の充実に係る措置です。筑波大学附属学校には、普通附属6校、特別支援学校5校の合計11校があり、それを統括・支援するのが附属学校教育局です。この11校で、上記3つの具体的な措置（特色ある教育研究の取り組みを含む）に関して、平成23年度に行われた内容について具体的に記載されています。本集は、現在の附属学校と附属学校教育局の現状と課題を知るためにも有益であり、自己評価を兼ねていると考えることもできます。

筑波大学は、来年で、創立40周年、東京高等師範大学から創基101年になりますが、筑波大学の建学理念であり、今でこそ各大学で強調されている「開かれた大学」「国際的大学」「常に先導的な教育研究を目指す大学」の先見性と重要性を再認識しながら、「IMAGINE THE FUTURE.」の旗の下に、その確固たる存在意義を社会に発信し続けなければなりません。附属学校もこのことは同じであり、各附属学校の伝統・実績・特色も大切にしながら、決してそれに捉われることなく、常に新しい世界の先導的な教育・研究成果の創出・発信に邁進しなければなりません。とくに、多種多様な個性あふれる附属学校を、昨年度の本集の“はじめに”を記した阿部前教育長が述べたように、“附属11校を、改めて「コンステレイション」（星座のような集合体）として捉えなおし、各学校間の人事交流を含めた連携、大学との連携、社会との連携などを格段に強化する中で、附属11校が全体として光り輝くために、それを実現して行くための中期計画にある所期の具体的措置の遂行が問われています。このような大学・附属学校を取り巻く社会的な環境の中で、学校現場から、社会に向けて常に得られた成果は勿論のこと、未来の在り方を指し示すような提案をしていく必要があります、そのための一つのツールとしてこのデータ集を刊行する次第です。今後も継続的に発刊して行く所存ですが、その内容を充実するために、是非、一度お目を通して頂き、筑波大学附属学校の活動に対して、率直な御意見を頂きますと幸いです。

平成24年6月1日

筑波大学附属学校教育局教育長
東 照雄

平成23年度 筑波大学附属学校教育局データ集

(※掲載したデータは平成23年度における各附属学校の取り組みを中心にまとめたものである。)

目 次

1 学校教育目標	P5
2 大学と附属学校との連携に関する具体的方策	
(1) 「附属学校教育局プロジェクト研究」への取組状況	P7
(2) 「大学が開設する教職科目等への附属学校教員の協力」の実施状況	P8
(3) 大学教員による附属学校への出前授業等	P9
(4) 教育実習等の受け入れ状況	P11
(5) 「科学の芽」賞の実施状況	P14
3 初等・中等教育の教育拠点形成に関する具体的方策	
(1) 3つの拠点構想に関する取組状況	P17
(2) 普通附属と特別支援との連携状況	P19
(3) 全国規模の研究発表会等の実施状況	P21
(4) 教育方法、カリキュラム等のモデル開発及び成果の発信状況	P23
(5) 教員免許状更新講習への取組状況	P24
(6) 留学生等の受け入れ及び派遣状況	P29
(7) 国際交流協定締結状況	P31
(8) 国際教育事業への取り組み状況	P31
(9) 教員の海外派遣、海外からの教員研修の受入状況	P36
(10) 附属学校等出版物刊行状況	P38
4 特別支援教育の総合的支援体制の充実に関する具体的方策	
(1) 超早期教育への取組状況	P40
(2) 特別支援教育研究センターの取組状況	P40
5 社会貢献・地域連携	
(1) 研修会・公開講座の実施状況	P44
6 管理運営	
(1) 附属学校児童生徒等定員等一覧表	P46
(2) 附属学校教員現員数	P51
所在地・連絡先	P52

1 学校教育目標

各附属学校では、毎年度、教育目標・教育計画案を策定し、学校教育目標を以下のとおり定めている。

(1) 各附属学校の学校教育目標

【附属小学校】

初等教育に関する実験的・実証的な研究を使命とする学校である。一人ひとりの個性を尊重し人間性豊かな児童の育成と心身の発達に応じた教育を目指している。

- ・人間としての自覚を深めていく子ども
- ・文化を継承し、創造、開発する子ども
- ・国民としての自覚をもつ子ども
- ・健康で、活動力のある子ども

【附属中学校】

調和的な心身の発達と確かな知性の育成ならびに豊かな個性の伸長を図るとともに、民主的社会の一員として、人生を主体的に開拓し、進んで、人類社会の進展に寄与することができる人間を育成する。

- ・自主自律の精神
- ・強い意志と逞しい実践力
- ・積極的な創意と探求心
- ・広い視野に立つ正しい判断力
- ・明朗率直で誠実な態度
- ・集団生活における協力と責任
- ・人間愛にもとづく思いやりの心

【附属高等学校】

調和のとれた人間の育成という本校の伝統的教育精神に基づき、生徒のバランスの良い心身の発達と豊かな個性の伸長を目指す。それによって変遷してゆく社会に主体的に対処し、社会の発展に寄与できる人間の育成を目標とする。

- ・自主、自律、自由の精神
- ・広い視野と深い探求心
- ・集団生活における協力、責任

【附属駒場中学・高等学校】

自由・闊達の校風のもと、挑戦し、創造し、貢献する生き方をめざす。

「挑戦」：既成の価値観にとらわれがちな自分自身に立ち向かって、自由な発想で創造的に新しい世界を切り開こうとする精神面での姿勢を指す。

「創造」：本校の校風である「自由・闊達」を具体的に表現したもので、時代と社会の要請に応じて、常に新たな、かつ、優れた価値観を生み出していこうとする行動面での姿勢を指す。

「貢献」：「挑戦」し「創造」した結果として実現したものを、社会に還元し役立てることを指す。

【附属坂戸高等学校】

普通教育及び専門教育を総合的に施すことによって、社会の変化に対応しながら生涯を通じて主体的に学び続ける資質や能力を身につけさせ、社会の進展や科学技術の進歩に対応し、持続可能な社会の創造とその発展に貢献できる人間を育成する。

- ・選択科目群の名称

1) 生物資源・環境科学

- 2) 工学システム・情報科学
- 3) 生活・人間科学
- 4) 人文社会・コミュニケーション

【附属特別視覚特別支援学校】

障害を克服し、人間として調和のとれた発達をはかり、積極的に社会に参加、貢献できる人間を育成することを目標としている。幼児・児童・生徒が保有する感覚を有効に活用し、自主性と個性を尊重して、自主的な思考力・判断力並びに積極的な行動力を養い、主体的に社会参加していくための知識・技能・態度を養う。

【附属聴覚特別支援学校】

進んで自分の能力を開発し、広い視野に立って文化的生産的活動の発展に寄与できる人格の育成に努めている。この目標を達成するために、幼稚部では話し言葉を通して日本語を習得させることに努め、小学部・中学部では聞こえる子どもたちと同じ教育課程によって教科の学習を進め同年齢の聞こえる子どもと同等の学力が維持できるように努めている。高等部では、卒業後の進路を考慮に入れ生徒の能力と適性に応じた教育課程によって大学進学や専攻科への進学とそれぞれの適性に応じた教育を行なっている。

【附属大塚特別支援学校】

一人一人の子どもの人格を大切にし、個別的・集団的指導を通じて教育目標の達成に努め、それぞれの発達の可能性のより豊かな発現を図る。

- ・一人一人の子どもの個性を生かし、健康で自主的な生活のできる能力及び態度を養う。
- ・子ども自身の思いや願いを大切にし、将来、職業生活に参加する上で必要な知識、技能、態度を養う。

【附属桐が丘特別支援学校】

肢体不自由及びその他の障害を併せ有する児童・生徒に対して、個々の個性と障害の実態に応じた教育を行い、豊かな人間性を持ち、積極的に社会に参加し、自立を目指す人間の育成に努めることが本校の教育目標である。

【附属久里浜特別支援学校】

個々の子供の実態に応じて、思い、考え、行動する態度や力の育成を図り、自立し社会参加するための基礎を培うことを目指す。

具体的には

- (1) 生活の中で、人とのかかわりを豊かにする。
- (2) 人とのかかわりを通して、気持ちや考えを育てる。
- (3) 気持ちや考えを望ましい態度や行動で表せるようにする。

2 大学と附属学校との連携に関する具体的方策

(1) 「附属学校教育局プロジェクト研究」への取組状況

プロジェクト研究とは、日本の教育現場で解決が迫られている今日的課題の解決に向けて、学校教育の実践的な研究を附属学校教育局の大学教員と附属学校教員とが協同して研究するものである。

平成23年度においては4つの研究テーマ（P 1：学校で「気になるこども」の支援に関する研究、P 2：子どものコミュニケーション能力を育てる、P 3：附属学校における卓越した指導力を活かした教師教育のカリキュラム開発、P 4：国際的資質を育てる）について実施した。

〔各年度における研究テーマ〕

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		プロジェクト1-①	プロジェクト1-①	プロジェクト1-①	プロジェクト 1	プロジェクト 1
個別的教育支援計画の開発に関する研究	個別的教育支援計画の開発に関する研究	ライフスキルを高める心理学の授業	ライフスキルを高める心理学の授業	ライフスキルを高める心理学の授業	学校で「気になるこども」の支援に関する研究	学校で「気になるこども」の支援に関する研究
		プロジェクト1-②	プロジェクト1-②	プロジェクト1-②	プロジェクト 2	プロジェクト 2
児童生徒の心身の健康とそのサポート・システムの在り方の研究	児童生徒の心身の健康とそのサポート・システムの在り方の研究	パブリック・リテラシーの学習のあり方に関する基礎的研究	パブリック・リテラシーの学習のあり方に関する基礎的研究	パブリック・リテラシーの学習のあり方に関する基礎的研究	子どものコミュニケーション能力を育てる	子どものコミュニケーション能力を育てる
		プロジェクト1-③	プロジェクト1-③	プロジェクト1-③	プロジェクト 3	プロジェクト 3
筑波大学及び附属学校における教育教職の在り方の研究	筑波大学及び附属学校における教育教職の在り方の研究	初等・中等教育における情報リテラシー・情報モラルの系統的な指導の在り方に関する研究	初等・中等教育における情報リテラシー・情報モラルの系統的な指導の在り方に関する研究	初等・中等教育における情報リテラシー・情報モラルの系統的な指導の在り方に関する研究	附属学校の「知」を活かした教師教育の創造	附属学校における卓越した指導力を活かした教師教育のカリキュラム開発
		プロジェクト 2	プロジェクト 2	プロジェクト 2	プロジェクト 4	プロジェクト 4
共に創る交流教育の研究	共に創る交流教育の研究	I C Tツールを用いた教材開発、授業手法の改善に関する研究	附属学校の「知」を活かした教師教育の創造	附属学校の「知」を活かした教師教育の創造	国際的資質を育てる	国際的資質を育てる
		プロジェクト 3	プロジェクト 3	プロジェクト 3		
	I C Tツールを用いた教材開発、授業手法の改善に関する研究	附属学校の「知」を活かした教師教育の創造	交流・共同学習	交流・共同学習		
		プロジェクト 4	プロジェクト 4	プロジェクト 4		
	高大連携によるキャリア教育の在り方に関する研究	高大連携によるキャリア教育の在り方に関する研究	高大連携によるキャリア教育の在り方に関する研究	高大連携によるキャリア教育の在り方に関する研究		

※平成17年度及び平成18年度においては、プロジェクト研究の番号を付してなかった。

(2) 「大学が開設する教職科目等への附属学校教員の協力」の実施状況（平成23年度）

本学附属学校の教員は、本学大学院や学群の学生に対して様々な授業（教職科目、リメディアル教育、障害科学等）を非常勤講師として行っている。

科 目 名	対象研究科学群学類	曜時限	所属学校名	備 考
教育・研究指導Ⅱ（教師論）	大学院共通	2 学期集中	附属中学校	生命環境科学研究科
			附属視覚特別支援学校	
			附属高等学校	
			附属久里浜特別支援学校	
社会科公民指導法	全学群	3 学期集中	附属中学校	教職科目
数学授業研究	全学群	2 学期	附属中学校	教職科目
生徒指導・教育相談	全学群	1 学期	附属中学校	教職科目
生徒指導・教育相談	全学群	2・3 学期	附属中学校	教職科目
生物生産材料学及び実習	生物環境学群	集中	附属中学校	生命環境学群
地理歴史科（歴史）指導法	全学群	2 学期	附属高等学校	教職科目
公民科（倫理）指導法	全学群	3 学期集中	附属高等学校	教職科目
情報科指導法Ⅰ	全学群	2 学期	附属高等学校	教職科目
数学科指導法	全学群	1 学期	附属高等学校	教職科目
リメディアル教育（生物）	全学群	集中	附属高等学校	リメディアル教育
美術科指導法Ⅱ	芸術専門学群	集中	附属高等学校	教職科目
保健体育教育実践演習Ⅰ	大学院	集中	附属高等学校	教育研究科
教育実習事前指導	人間学群	集中	附属高等学校	教職科目
教育実習事前指導	人間学群	集中	附属高等学校	教職科目
国語科教材研究	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
自由科目「基礎から学ぶ統計の世界」	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	リメディアル教育
自由科目「基礎から学ぶ統計の世界」	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	リメディアル教育
自由科目「基礎から学ぶ統計の世界」	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	リメディアル教育
自由科目「基礎から学ぶ遺伝の世界」	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	リメディアル教育
技術科教育法概論	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
技術科指導法Ⅰ	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
技術科指導法Ⅱ	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
教育実習事前指導	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
教育実習事前指導	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
教育実習事後指導	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
教育実習事前指導	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
教育実習事後指導	全学群	集中	附属駒場中等高等学校	教職科目
農業科教育法概論	全学群	1・2 学期集中	附属坂戸高等学校	教職科目
農業科指導法	全学群	2・3 学期集中	附属坂戸高等学校	教職科目
職業指導	全学群	1～3 学期集中	附属坂戸高等学校	教職科目
教育内容・方法論Ⅱ	全学群	1 学期集中	附属坂戸高等学校	教職科目
ティクニカルライティング	生物資源学類	1～3 学期	附属坂戸高等学校	総合科目
リメディアル教育（英語）	生物環境学群	集中	附属坂戸高等学校	リメディアル教育
視覚障害自立活動	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害教科指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害教科指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害教科指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害教科指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害教科指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類
視覚障害児の指導法	障害科学類	集中	附属視覚特別支援学校	障害科学類

聴覚障害児の教育と指導法	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
聴覚障害児の教育と指導法	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
手話と聴覚障害者	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
手話と聴覚障害者	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
聴覚障害自立活動特講	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
聴覚障害自立活動特講	障害科学類	集中	附属聴覚特別支援学校	障害科学類
教育実習事前指導	全学群	集中	附属聴覚特別支援学校	教職科目
介護等体験の異議	全学群	集中	附属聴覚特別支援学校	教職科目
知的障害自立活動論	障害科学類	集中	附属大塚特別支援学校	障害科学類
教育研究指導Ⅱ教師論	生命環境科学	集中	附属大塚特別支援学校	生命環境科学
教職に関する科目「総合演習」	人間学群	集中	附属大塚特別支援学校	人間学群
介護体験の意義	障害科学類	集中	附属大塚特別支援学校	障害科学類
運動障害教育学	障害科学類	集中	附属桐が丘特別支援学校	障害科学類
運動障害教育学	障害科学類	集中	附属桐が丘特別支援学校	障害科学類
総合演習	障害科学類	集中	附属桐が丘特別支援学校	教職科目
介護体験の意義	全学群	集中	附属桐が丘特別支援学校	教職科目
知的障害学校教育論	障害科学類	集中	附属久里浜特別支援学校	障害科学類

(3) 大学教員による附属学校への出前授業等（平成23年度）

大学教員又は大学院生が附属学校に出向いて授業等を行う「出前授業等」の実施や、附属学校の生徒が大学教員の研究室を訪問する「研究室体験」等を実施している。

実施形態	学類（群）	学校名	タイトル	実施時間
出前講義	附属学校教育局	附属高等学校	本番に強くなること	1時間
出前講義	心理	附属高等学校	しぐさからわかること	1時間
体験授業	体育	附属高等学校	沖縄の自然とマリンスポーツ	2～3時間
体験授業	体育	附属高等学校	スノーケリング実習	2～3時間
出前講義	地球	附属高等学校	シンガポール	半日
出前講義	比文	附属高等学校	英語を使ったコミュニケーション	半日
研究室体験	障害	附属駒場中学校	開発途上国への教育協力の意義	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	顕微鏡で生物を覗くこととは？	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	生物の多様性から読み解く歴史	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	ムシを使った研究からヒトを理解する	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	イモリはiPSを越えるか？	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	生体構成分子を見てみよう	2～3時間
研究室体験	生物	附属駒場中学校	細胞の生と死のふしぎ	2～3時間
研究室体験	生物資源	附属駒場中学校	線虫の寿命科学ー光るタンパク質を観察しよう！	2～3時間
研究室体験	生物資源	附属駒場中学校	線虫の寿命科学ー光るタンパク質を観察しよう！	2～3時間
研究室体験	生物資源	附属駒場中学校	昆虫を知ること	2～3時間
研究室体験	生物資源	附属駒場中学校	走査型電子顕微鏡による観察	1～2時間
研究室体験	数学	附属駒場中学校	宇宙論四方八方話（地球球体説から Dark Matter まで）ー数学、物理学、そして宇宙	2～3時間
研究室体験	物理	附属駒場中学校	未来のエネルギーを生み出すプラズマ	2～3時間
研究室体験	物理	附属駒場中学校	未来のエネルギーを生み出すプラズマ	2～3時間
研究室体験	物理	附属駒場中学校	未来のエネルギーを生み出すプラズマ	2～3時間
研究室体験	物理	附属駒場中学校	ミクロな視点からの科学ーポテトチップスの味と電子スピンー	2～3時間
研究室体験	応用理工	附属駒場中学校	材料を創る、測る、考える	2～3時間
研究室体験	工学システム	附属駒場中学校	新時代の視覚メディア	2～3時間
研究室体験	社会工学	附属駒場中学校	オークションを体験してみよう	2～3時間

平成23年度 筑波大学附属学校教育局データ集

研究室体験	社会学	附属駒場中学校	オークションを体験してみよう	2～3時間
研究室体験	社会学	附属駒場中学校	オークションを体験してみよう	2～3時間
研究室体験	社会学	附属駒場中学校	教養としてのデリバティブ	2～3時間
研究室体験	情報科学	附属駒場中学校	ソフトウェア開発者を支援するためのデータ分析	2～3時間
研究室体験	情報科学	附属駒場中学校	ソフトウェア開発者を支援するためのデータ分析	2～3時間
研究室体験	情報科学	附属駒場中学校	情報工学って何だろう？	2～3時間
研究室体験	情報科学	附属駒場中学校	自動車の運転支援のデザインと評価	2～3時間
研究室体験	情報科学	附属駒場中学校	リアルタイム分析を支援するデータストリーム処理	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	医学類の講義又はテュートリアルの見学	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	悪性腫瘍の最終診断はどのように行われるか	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	血管内手術のシミュレーション	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	未来の医療と基礎研究	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	ウイルスって何？---目で見えるインフルエンザウイルス	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	自己免疫疾患の治療と研究の最前線	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	自己免疫疾患の治療と研究の最前線	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場中学校	整形外科医の仕事について	1～2時間
研究室体験	日本語・日本文化	附属駒場中学校	日本語の文法について考える	1～2時間
研究室体験	社会学	附属駒場中学校	日本の政治と選挙	1～2時間
研究室体験	芸術	附属駒場中学校	創作の秘密	1～2時間
研究室体験	人文学	附属駒場高等学校	古代インド宗教文献の解読への誘い	2～3時間
研究室体験	社会・国際	附属駒場高等学校	家族法入門・夫婦と親子の法律関係	4～5時間
研究室体験	社会・国際	附属駒場高等学校	裁判員裁判を体験してみよう	2～3時間
研究室体験	社会学	附属駒場高等学校	現代の「戦争」と「平和」を考える	4～5時間
研究室体験	社会・国際	附属駒場高等学校	環境・企業・NGO	4～5時間
研究室体験	生物学	附属駒場高等学校	生物の多様性から読み解く歴史	4～5時間
研究室体験	生物学	附属駒場高等学校	進化のシミュレーション	4～5時間
研究室体験	生物学	附属駒場高等学校	微細藻類のCO ₂ に対する応答?グリコール酸代謝（C ₂ 経路）速度の解析	4～5時間
研究室体験	生物学	附属駒場高等学校	微細藻類のCO ₂ に対する応答?グリコール酸代謝（C ₂ 経路）速度の解析	4～5時間
研究室体験	生物学	附属駒場高等学校	生物の形づくりに必要な遺伝子の発現を見てみよう	4～5時間
研究室体験	生物資源	附属駒場高等学校	十割そばで知るソバ品種の食味	4～5時間
研究室体験	生物資源	附属駒場高等学校	作物と人間	4～5時間
研究室体験	生物資源	附属駒場高等学校	いのちの最小単位・アミノ酸の分子解剖	4～5時間
研究室体験	生物資源	附属駒場高等学校	いのちの最小単位・アミノ酸の分子解剖	4～5時間
研究室体験	生物資源	附属駒場高等学校	昆虫機能を利用する	4～5時間
研究室体験	地球	附属駒場高等学校	地球を空から診断する：リモートセンシング	2～3時間
研究室体験	地球	附属駒場高等学校	南極の岩石からみた地球の進化	2～3時間
研究室体験	数学	附属駒場高等学校	表の部分学、裏の微分学	2～3時間
研究室体験	物理	附属駒場高等学校	スピノ科学ー物理学の基礎から学際領域研究までー	4～5時間
研究室体験	化学	附属駒場高等学校	分子を見る	4～5時間
研究室体験	化学	附属駒場高等学校	分子を見る	4～5時間
研究室体験	応用理工	附属駒場高等学校	身近な物・現象を科学の目で見ると	2～3時間
研究室体験	応用理工	附属駒場高等学校	”ガラス”のような金属と”ゴム”のような金属	4～5時間
研究室体験	工学システム	附属駒場高等学校	電子回路とコンピュータによる音楽音響制作	4～5時間
研究室体験	社会学	附属駒場高等学校	明日の東京大震災ーそれまでとそれからー	4～5時間
研究室体験	図書館	附属駒場高等学校	北欧公共図書館の秘密を探る	1～2時間
研究室体験	図書館	附属駒場高等学校	メディアの影響研究からメディア教育の実践を考える	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場高等学校	医学類の教育概要（新筑波方式）について	1～2時間
研究室体験	医学	附属駒場高等学校	耳鼻咽喉科・頭頸部外科の臨床と研究	2～3時間
研究室体験	医学	附属駒場高等学校	肝臓の疾患モデル	2～3時間

研究室体験	医学	附属駒場高等学校	科学を進歩させる遺伝子導入技術	4～5時間
研究室体験	医学	附属駒場高等学校	マウスが拓くライフサイエンス	4～5時間
研究室体験	医学	附属駒場高等学校	最先端の手術	4～5時間
研究室体験	看護	附属駒場高等学校	学際的な特徴をもつ看護学の世界	4～5時間
研究室体験	芸術	附属駒場高等学校	建築的なアイデアとは何か	1～2時間
出前授業	数学	附属駒場高等学校	数学的ヒラメキで解くパズル	1～2時間
出前授業	附属学校教育局	附属坂戸高等学校	ライフスキルを高める心理学の授業	4日
出前講義	生命環境科学	附属坂戸高等学校	「産業社会と人間」学問の素晴らしさ	半日
出前講義	生命環境科学	附属坂戸高等学校	「産業社会と人間」学問の素晴らしさ	半日
出前講義	システム情報工学	附属坂戸高等学校	「産業社会と人間」学問の素晴らしさ	半日
出前講義	元副学長	附属坂戸高等学校	「産業社会と人間」学問の素晴らしさ	半日
出前講義	情報科学	附属坂戸高等学校	先端の科学技術と学問について	半日
出前講義	生物	附属坂戸高等学校	PCRによるGM食品検知実験	4時間
合宿実習	生物資源	附属坂戸高等学校	ハヶ岳演習林実習	3日
合宿実習	生物資源	附属坂戸高等学校	農林技術センター実習	2日
卒業研究指導	生物資源	附属坂戸高等学校	卒業研究の指導ならびに共同研究	4日
合宿実習	生命環境科学	附属坂戸高等学校	総合地球科学入門	4日
出前講義	生物資源	附属坂戸高等学校	特別講義	2時間
出前講義	附属学校教育局	附属聴覚特別支援学校	いじめに関する講習会	1時間
出前講義	附属学校教育局	附属聴覚特別支援学校	キャリア教育	半日
出前講義	人間総合科学研究	附属聴覚特別支援学校	発達障害児の実際と指導	1～2時間
出前講義	人間総合科学研究	附属聴覚特別支援学校	聴覚障害教育の課題と展望	1～2時間
出前講義	附属学校教育局	附属視覚特別支援学校	ライフスキルを高める心理学の授業	1～2時間
出前講義	附属学校教育局	附属視覚特別支援学校	キャリアを考える	1時間
出前講義	附属学校教育局	附属視覚特別支援学校	自己を見つめて	2時間
出前講義	附属学校教育局	附属視覚特別支援学校	進路と適性	2時間
集中講義	医学	附属視覚特別支援学校	解剖学	128時間
出前講義	体育科学	附属大塚特別支援学校	陸上競技のデモンストレーションと練習	1～2時間

(4) 教育実習等の受け入れ状況

教育実習は従来より附属学校の重要な役割であり、多くの実習生を受け入れている。また、平成10年度の入学者から介護等体験の受入も行っている。

教育実習生受入一覧（筑波大学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属小学校	2	2
附属中学校	33	30
附属高等学校	57	47
附属駒場中・高等学校	47	35
附属坂戸高等学校	54	41
附属視覚特別支援学校	4	3
附属聴覚特別支援学校	2	2
附属大塚特別支援学校	1	0
附属桐が丘特別支援学校	4	3
附属久里浜特別支援学校	0	0
附属学校計（受講者数）	204	163
協力校（申込者数）	191	193
出身校（申込者数）	183	171
合計	578	527

教育実習生受入一覧（他大学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属小学校	2	1
附属中学校	7	6
附属高等学校	3	4
附属駒場中・高等学校	1	1
附属坂戸高等学校	11	12
附属視覚特別支援学校	1	4
附属聴覚特別支援学校	1	4
附属大塚特別支援学校	0	4
附属桐が丘特別支援学校	0	1
附属久里浜特別支援学校	0	2
合計	26	39

教育実習期間

教育実習校		平成23年度	(参考) 平成22年度
附属小学校	(養護)	10/14～11/ 4	10/15～11/ 5
附属中学校	(一期)	5 /16～ 6 / 4	5 /17～ 6 / 5
	(養護)	9 /16～10/ 8	9 /27～10/15
附属高等学校	(一期)	5 /16～ 6 / 4	5 /17～ 6 / 5
	(二期)	9 / 1 ～ 9 /21	9 / 1 ～ 9 /22
	(養護)	9 / 1 ～ 9 /21	9 / 1 ～ 9 /22
附属駒場中・高等学校	(一期)	5 /23～ 6 /10	5 /24～ 6 /11
	(二期)	9 / 1 ～ 9 /22	9 / 1 ～ 9 /22
	(養護)	9 / 1 ～ 9 /22	9 / 1 ～ 9 /22
附属坂戸高等学校	(一期)	5 / 9 ～ 5 /27	5 / 6 ～ 5 /26
	(二期)	9 / 1 ～ 9 /20	9 / 2 ～ 9 /21
	(養護)	9 / 1 ～ 9 /20	9 / 2 ～ 9 /21
附属視覚特別支援学校	(一期)	5 / 9 ～ 5 /27	5 /10～ 5 /28
	(養護)	10/ 3 ～10/21	
附属聴覚特別支援学校	(一期)	6 / 6 ～ 6 /24	6 / 7 ～ 6 /25
	(二期)		
	(養護)		
附属大塚特別支援学校	(養護)	10/ 3 ～10/21	10/ 4 ～10/22
附属桐が丘特別支援学校	(一期)	5 /23～ 6 /12	5 /25～ 6 /12
	(養護)		
附属久里浜特別支援学校	(養護)		

介護等体験申込者一覧（筑波大学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属視覚特別支援学校	60	157
附属聴覚特別支援学校	60	55
附属大塚特別支援学校	136	91
附属桐が丘特別支援学校	151	144
附属久里浜特別支援学校	27	27
附属学校計	434	474
社会福祉施設	440	439
合計	874	913

介護等体験申込者一覧（他大学の学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属視覚特別支援学校	83	99
附属聴覚特別支援学校	27	11
附属大塚特別支援学校	15	15
附属桐が丘特別支援学校	217	165
附属久里浜特別支援学校	40	40
合計	382	330

特別支援実習生受入一覧（筑波大学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属視覚特別支援学校	4	4
附属聴覚特別支援学校	2	4
附属大塚特別支援学校	1	14
附属桐が丘特別支援学校	7	3
附属久里浜特別支援学校	7	4
合計	21	29

特別支援実習生受入一覧（他大学の学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属視覚特別支援学校	0	0
附属聴覚特別支援学校	0	0
附属大塚特別支援学校	10	3
附属桐が丘特別支援学校	0	1
附属久里浜特別支援学校	2	2
合計	12	6

特別支援実習期間

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属視覚特別支援学校	10/ 4 ～10/22 10/30又は10/31	10/ 4 ～10/22 10/30又は10/31
附属聴覚特別支援学校	10/ 3 ～10/21 及び11/ 3	10/ 4 ～10/22 10/ 1
附属大塚特別支援学校	1 /10～ 1 /27	10/ 4 ～10/22 10/17
		1 /11～ 1 /28 10/ 4
附属桐が丘特別支援学校	9 /30～10/21 及び10/ 1	10/ 1 ～10/22 10/ 2
附属久里浜特別支援学校	10/11～10/31	10/12～11/1

教職基礎実践（学校参観）等受入一覧（筑波大学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属小学校	71	91
附属中学校	28	44
附属高等学校	20	29
附属駒場中・高等学校	7	14
附属坂戸高等学校	5	13
附属視覚特別支援学校	34	0
附属聴覚特別支援学校	52	60
附属大塚特別支援学校	0	0
附属桐が丘特別支援学校	33	43
附属久里浜特別支援学校	59	45
合計	309	339

学校参観（他大学の学生）

教育実習校	平成23年度	(参考) 平成22年度
附属小学校	102	68
附属中学校	56	16
附属高等学校	45	33
附属駒場中・高等学校	0	0
附属坂戸高等学校	0	0
附属視覚特別支援学校	12	0
附属聴覚特別支援学校	60	108
附属大塚特別支援学校	0	0
附属桐が丘特別支援学校	17	18
附属久里浜特別支援学校	64	53
合計	356	296

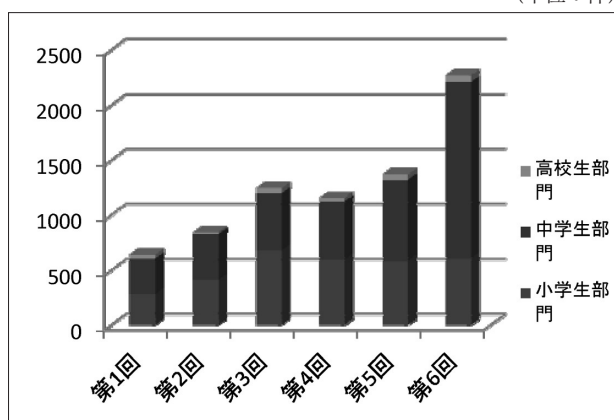
(5) 「科学の芽」賞の実施状況

筑波大学では、本学の前身の東京教育大学の学長を務めるなど、本学にゆかりのある朝永振一郎博士の功績を称え、それを後続の若い世代に伝えていくために、小・中・高校生を対象に自然や科学への関心と芽を育てることを目的としてコンクールを実施しており、大学教員と附属学校教員が連携し企画・運営している。

【部門別応募状況】

区 分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
小学生部門	281	411	682	596	588	608
中学生部門	328	416	519	530	737	1,602
高校生部門	36	19	47	32	50	65
合 計	645	846	1,248	1,158	1,375	2,275

(単位：件)

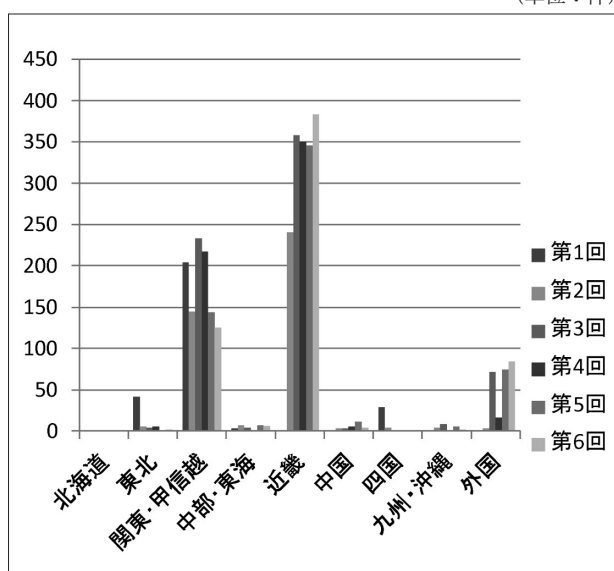


【全国地区別応募状況】

○小学生部門

区 分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
北海道	0	0	0	0	0	1
東北	42	5	4	5	1	2
関東・甲信越	204	145	233	217	144	125
中部・東海	3	7	4	1	7	6
近畿	1	240	358	350	345	383
中国	1	3	3	5	11	4
四国	29	4	0	1	0	1
九州・沖縄	1	4	8	1	5	2
外国	0	3	72	16	75	84
合計	281	411	682	596	588	608

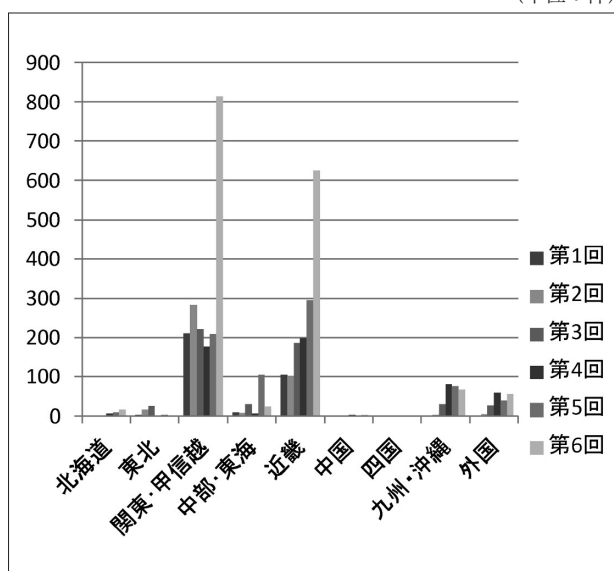
(単位：件)



○中学生部門

区 分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
北海道	0	0	0	7	10	15
東北	3	16	24	2	3	0
関東・甲信越	210	283	222	176	209	814
中部・東海	9	8	29	6	104	23
近畿	105	101	186	198	295	626
中国	0	0	1	3	1	3
四国	1	0	2	0	1	0
九州・沖縄	0	3	29	80	75	66
外国	0	5	26	58	39	55
合計	328	416	519	530	737	1,602

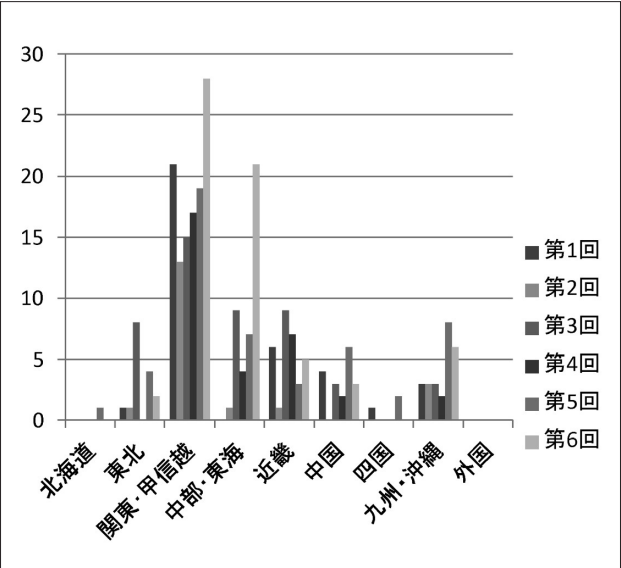
(単位：件)



○高校生部門

(単位：件)

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
北海道	0	0	0	0	1	0
東北	1	1	8	0	4	2
関東・甲信越	21	13	15	17	19	28
中部・東海	0	1	9	4	7	21
近畿	6	1	9	7	3	5
中国	4	0	3	2	6	3
四国	1	0	0	0	2	0
九州・沖縄	3	3	3	2	8	6
外国	0	0	0	0	0	0
合計	36	19	47	32	50	65



第 6 回「科学の芽」賞の審査結果

部門	応募件数		第一次 審査結果		第二次（最終） 審査結果						備考	
					「科学の芽」賞		「科学の芽」 奨励賞		「科学の芽」 努力賞			「科学の芽」 学校奨励賞
小学生 部門	608		78		10		26		42		【北海道】 ・北海道登別 明日中等教育学校 【茨城県】 ・私立茨城中学校 【東京都】 ・私立開成中学校 ・私立芝中学校 ・私立田園調布学園 中部 【三重県】 ・6年制鈴鹿中学校 ・高等学校 【大阪府】 ・大阪教育大学 附属池田小学校 ・大阪教育大学 附属池田中学校 ・大阪教育大学 附属天王寺小学校 ・羽曳野市立誉田中学校 【兵庫県】 ・私立雲雀丘学園中学校 【和歌山県】 ・和歌山県立向陽中学校 【福岡県】 ・福岡教育大学 附属小倉中学校 【大韓民国】 ・ソウル日本人学校 【中国】 ・上海日本人学校虹橋校 【ドイツ】 ・フランクフルト 日本人国際学校	【「科学の芽」 努力賞】 本人の努力の 成果が認められ る作品に対して 努力賞を授与
	個人	599	個人	73	個人	10	個人	23	個人	40		
	団体	9	団体	5	団体	0	団体	3	団体	2		
中学生 部門	1,602		80		9		17		54		【「科学の芽」 学校奨励賞】 自然や科学への 関心と芽を育 くむ教育活動に 積極的に取り組 まれた学校に学 校奨励賞を授与	
	個人	1,572	個人	72	個人	8	個人	15	個人	49		
	団体	30	団体	8	団体	1	団体	2	団体	5		
高校生 部門	65		19		3		6		10			
	個人	39	個人	4	個人	0	個人	0	個人	4		
	団体	26	団体	15	団体	3	団体	6	団体	6		
合計	2,275		177		22		49		106			
	個人	2,210	個人	149	個人	18	個人	38	個人	93		
	団体	65	団体	28	団体	4	団体	11	団体	13		

3 初等・中等教育の教育拠点形成に関する具体的方策

(1) 3つの拠点構想に関する取組状況

平成20年度において、附属学校教育局は、①先導的教育拠点②教師教育拠点③国際教育拠点の3つの拠点構想を本学附属学校の将来構想の基本方針と位置づけた。

平成23年度においては、下記のとおり3つの拠点の観点から附属学校教育局の取組を整理し、具体的施策を推進した。

平成20年10月24日

附属学校教育審議会承認

附属学校将来構想の基本方針について

附属学校教育局は、下記の3つの拠点構想を全附属学校の構想と位置づけ、附属学校将来構想の基本方針とする。

1 先導的教育拠点

日本の教育の未来を築くために、我が附属学校はそれぞれの領域においてリーダーシップを発揮しなければならない。筑波大学の附属学校は教育機関であると同時に研究機関としても期待されている。一般に附属学校の使命としては①教育実習の受入れ、②大学との共同研究の推進が求められているが、本学の附属学校は我が国を代表する実験学校として長い歴史的経緯をたどって成立しており、我が国の教育をリードするための研究と実践を世に問い貢献することが求められている。

2 教師教育拠点

筑波大学のルーツが我が国最初の師範学校であり、本学が130有余年にわたって日本の教育をリードしてきたことは言うまでもない。東京教育大学が筑波大学に発展しても、内外からの「教育の筑波」という評価と期待感が変わっていない。その意味で、教員養成・教師教育が筑波大学の学群及び大学院の重要な使命の一つであることは紛れもない事実である。そして、その使命を果たすために必要な組織が附属学校である。

すでに大学としては、教員のリカレント教育を公開講座などで実施しており大きな成果を挙げているが、さらに平成21年度から本格実施される教員免許状更新講習においても一層の貢献することが期待されている。

3 国際教育拠点

本学の附属学校の大きな特色は、国際的な交流と貢献を行ってきているということである。国内の教育界をリードするだけでなく、海外における教師教育などグローバルな視野で世界の教育界に貢献することが求められている。本学では留学生の受け入れ数の拡大など、国際化の充実を図っているが、その一環として海外の諸学校と連携し、中・高校生からの留学生受入れなど、積極的に取り組んでいくことが必要であろう。未来を切り開く国際人を育成することも附属学校の重要なミッションである。

1. 先導的教育拠点
①小・中・高一貫カリキュラム開発の研究
②高大連携（接続）の研究
③研究発表会の組織化
④附属学校教育局プロジェクト研究（P 1：学校で「気になるこども」の支援に関する研究）
⑤附属学校教育局プロジェクト研究（P2：子どものコミュニケーション能力を育てる）
⑥教育相談・支援体制の研究
⑦超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業
⑧「科学の芽」賞

2. 教師教育拠点
①教員免許状更新講習
②現職教員研修（初任者研修、10年経験者研修）
③普通附属と特別支援学校の連携等
④特別支援学校教員資格認定試験
⑤教育実習
⑥附属学校教育局プロジェクト研究（P3：附属学校における卓越した指導力を活かした教師教育のカリキュラム開発

3. 国際教育拠点
①教員の海外交流
②生徒の短期留学等
③海外教師教育
④国際交流協定
⑤附属学校教育局プロジェクト研究（P4：国際的資質を育てる）
⑥オリンピック教育

(2) 普通附属と特別支援との連携状況

本学附属学校は普通附属学校が6校、附属特別支援学校が5校（視覚障害部門、聴覚障害部門、肢体不自由部門、知的障害部門、自閉症部門）設置されており、相互に交流を図っている。

a) 2011(平23)年度、実施予定の取組み（継続的取組み等）

附属学校名	内 容
附属小学校	<p>2部6年：大塚特別支援学校都の交流プロジェクト計画 ねらい：交流に向けての諸活動を昨年に引き続き充実させることにより、自主的な活動を行う能力と他者に対する思いやりの気持ちを育てる。 テーマ：どのような活動を、どのような気持ちで行ったら、大塚特別支援学校の子どもたちが笑顔になってくれるかを考える。</p> <p>6月7日 事前交流会 本校の2部6年（男子18名女子20名）が、大塚特別支援学校に出向き、先方の小学部の児童23名との顔合わせをする。授業を参観や先生に質問を受けてもらい、意欲付けを行う。</p> <p>6月23日 保谷農園での交流会 本校と大塚特別支援学校は例年、保谷にある農場でさつまいもの苗差しとジャガイモとさつまいもの収穫を行っている。今回は、ジャガイモ掘りをして、その収穫物を調理し、カレーにして食べる活動を行う。カレーができる間に交流会をしてお互いの持ち寄ったゲームや出し物をする。</p> <p>10月25日 保谷での交流会 今回はさつまいもの収穫と、焼き芋、交流会を行う。とりあえず、これで最後の交流会となる。プレゼントや手紙を渡したり、大塚特別支援学校の子どもたちをバスまで見送ったりして、2年間交流してきた友だちとの別れを惜む。 今年度も昨年度に引き続き、大塚特別支援学校との交流を通して連携を深めた。その経緯を記録として残す。</p>
附属中学校	<p>①筑波大学附属視覚特別支援学校生徒との交流会の実施（平成12年度から継続実施） ②1年生のHRH（道徳と特別活動の融合の時間）において、筑波大学附属の特別支援学校の調べ学習と桐ヶ丘特別支援学校の教員を招いての講演会の実施。</p>
附属高等学校	<p>①大塚特別支援学校との桐陰祭交流 【実施内容】交流委員会指導 矢野・藤生 ○日時 2011年9月10日（見学・販売・展示）11日（展示のみ） ○内容 ・10日「桐陰祭」に、附属大塚特別支援学校中学部の生徒と教諭が来校。本校交流委員の案内で桐陰祭を見学した。・ホームルーム教室の半分を使用し、大塚支援生徒の作品の展示・販売スペースとした。残り半分を、大塚支援生徒の休憩室として確保した。・交流委員作成の「附属大塚特別支援学校についての簡単な解説」をあわせて展示した。 【経過】 5月 交流委員会が、桐陰祭企画として大塚特別支援学校との交流をエントリー（物品販売の許可） 6月 交流委員会内で大まかな打ち合わせ開始。大塚特別支援学校との打ち合わせが始まる（主にメールによる）。 8月 担当教員の間で実施計画を検討。 9月6日 交流委員が附属大塚特別支援学校を訪問し、桐陰祭のパンフレットを届けた。 8日 交流委員会開催 当日の動きを説明し、案内ローテーション確認した。 8日 附属大塚特別支援学校より展示品搬入した（数学科準備室に保管）。 9日 全校集会で附属大塚特別支援学校生徒が来校（桐陰祭参加）の件を伝達した（委員長）。附属大塚特別支援学校訪問、授業（作業実習）参観を行った（委員3名、矢野引率）。 →訪問は本校生徒からの「事前に会って仲良くなっておきたい」との要望でもある。午後、展示準備 10日 交流・販売・展示（10時～13時） 11日 展示のみ … 販売を希望する声も多数あった。 14日 展示品搬出（附属大塚特別支援学校より教員来校） 20日 交流委員会反省会実施 → 是非来年も続けたいとの意見が多かった。 【今後に向けて】 暑い中の来校で、附属大塚特別支援学校の方々も大変そうでした。見学については本校交流委員の案内が付き、販売及び呼び込みは附属大塚特別支援学校の先生・生徒が中心となって行いました。見学者が多数あり、販売・展示とも好評で、「一言ノート」にも感動の感想が記入されていました。今後も続けて欲しいとの感想がありました。当日は3時間と短い時間の来校でしたが、他の発表もかかえている交流委員にとっては、案内ローテーションはぎりぎりの確保でした。昨年度・今年度の経験を活かして次年度は生徒の交流委員がさらに主となって動く方向に持っていきたいと考えています。また、大塚特別支援の生徒さんとの直接の話し合いも、是非実現させていきたいと考えます。後日、附属大塚特別支援学校生徒の感想文・絵を頂戴しま</p>

	した。この絵を活用して、ＡＯ入試のプレゼンテーションを行った生徒がいた。
附属駒場中・高等学校	(1) ブラインドサッカー 本校の社会貢献プロジェクトである「筑駒アカデメイア」の公開講座としての実施 (2) 高2 総合的な学習の時間「ゼミナール」での『福祉・ともに生きる』の実施 (3) 他附属への学校訪問と交流
附属坂戸高等学校	産業社会と人間における特別支援学校との交流 平成24年11月
附属視覚特別支援学校	(幼稚部) ・近隣の幼稚園との交流 (小学部) ・近隣の青柳小学校との交流の機会設定 ・附属坂戸高校における芋掘り遠足の実施 ・居住地校交流の実施 (中学部) ・附属中学校との交歓会の実施 ・附属桐が丘特別支援学校オセロ部との対戦会 (高等部) ・生徒会企画による東京学芸大学附属高等学校との交歓会 ・高等部生が附属高等学校柔道部の練習に参加 (鍼灸手技療法科) ・筑波大学医学専門学群医学類4年生アドヴァンストコース学生との交流会 (教員派遣・連携) ・附属駒場高等学校総合的な学習への協力 ・特別なニーズのあるこどものための食育ひろばの開催
附属聴覚特別支援学校	(1) 高等部と附属坂戸高校との交流 ・附属坂戸高校「産業社会と人間」の授業の一環として、(11月16日) (2) 附属高校・附属坂戸高校における「就学相談」への協力 ・難聴生徒の受験対応に、高等部教員を派遣
附属大塚特別支援学校	・小学部と附属小学校「保谷教場での芋掘り交流」 6月7日 10月21日 「本校大塚祭予行練習参観」 11月15日 ・中学部と附属高等学校 学園祭での交流 9月10日 ・高等部と附属坂戸高校 10月21日(本校) 11月2日(坂戸) 2/3坂戸へ教員派遣 ・中学部と駒場高等学校 11月19日 駒場高ゼミ参加生徒3名と中学部1年クラス(6名)との交流 ・高等部と坂戸高等学校 6月14日 坂戸高企画代表生徒が来校し、本校生徒会と事前打ち合わせ
附属桐が丘特別支援学校	・附属坂戸高等学校との交流会 平成23年10月18日(火) 給食 及び5, 6校時(総合的な学習の時間) 附属坂戸高等学校1学年 1学年 1クラス 40名 附属桐が丘特別支援学校 1学年 9名 学校紹介・学校見学・車椅子体験・イントロクイズ
附属久里浜特別支援学校	附属学校と本校の距離が遠く、中々難しい。 1, 交流教育(保育) ①横須賀市立明浜小学校 年4回程度、学期1～2回、小学部全児童と相手校小学校6年生(1学級)との交流 ・各学校で活動計画を作成し、実施したい。 ・小学校では6年生の児童が活動の計画を作成した。本校小学部主事が、児童に対し自閉症についての解説や接し方について話す時間が数回設定された。 その結果、計画や活動がスムーズに進められるようにする。 ②野比保育所 本校の隣に位置する国立久里浜病院内の保育所と交流保育を開始したい。 ・幼稚部の幼児が2ヶ月に1回程度、保育園に歩いて行き、一緒に保育を行いたい(年間6回)。

b) 今年度実施できたら良いなと考えている取組み

附属学校名	内 容
附属小学校	イベントだけでなく、定期的な通常の授業交流、大塚以外の他附属との交流
附属中学校	H R Hの時間などに特別支援学校の先生や生徒との交流会を実施すること

附属高等学校	なし
附属駒場中・高等学校	教員間および生徒間の複数校による交流
附属坂戸高等学校	学校間交流の充実（授業を通しての生徒及び教員の交流）
附属視覚特別支援学校	教員同士の交流・連携事業・文化祭等を通しての生徒間交流
附属聴覚特別支援学校	相互に学校施設設備及び授業参観学園祭（体育祭、文化祭）への相互参観
附属大塚特別支援学校	なし
附属桐が丘特別支援学校	なし
附属久里浜特別支援学校	インターネット回線による他附属の生徒とのテレビ会話 自閉症についての理解を図るための他附属生徒への出前授業

（３）全国規模の研究発表会等の実施状況〔平成23年度〕

本学附属学校では日頃の教育実践や実験的な試みについて、その成果を発信するため、全国の教員を対象とした研究大会等を毎年開催している。

	研究発表会等の名称	各附属学校の教育実践あるいは教育研究の 成果として発表した内容	開催日	参加者数
附属小学校	学習公開・研究発表会	「独創」の教育―第3年次「『独創』の教育」の指導法の究明（１） 「『独創』の学びの姿」の具現化、「『独創』の教育」の指導法の究明	平成23年 6月17日～18日	約1500名
	学習公開・初等教育研修会	各教科部・領域ごとにテーマを持ちこれからの教育のあり方について、学習公開授業・研修会を行う	平成24年 2月16日～17日	約5000名
附属中学校	第39回研究協議会	中心テーマ：各教科における言語活動の充実について	平成23年11月12日	712名
附属高等学校	第61回 教育研究大会	全体講演会「モンスターペアレント論を超えて」小野田正利氏（大阪大学大学院人間科学研究科教授） 公開授業を行い、その後、教科ごとに次のような内容について発表し協議会をもった。 ・国語：教材の活かし方 ・地歴公民：災害と社会科 ・数学：公開授業についての研究協議 ・外国語：新カリキュラムへの対応 ・理科：新学習指導要領の実施に向けて ・保健体育：「体育理論」の授業 ・音楽：「音楽の授業」を通して何を学ぶのか	平成23年12月 3 日	311名
附属駒場中学校・高等学校	第38回教育研究会	1. 公開授業 国語 「古典におけるディベート学習の導入」（中学 2 年） 「現代語訳をどのように扱うか」（高校 1 年） 数学 「空間図形」（中学 1 年） 「三角関数の周期」（高校 2 年） 技術・家庭（家庭分野） 「家庭での仕事と家族関係」（中学 1 年） 保健体育 「高校 2 年生から「姿勢」について教えてもらう」（中学 2 年） 「ブラインドサッカーを採り入れたサッカーの授業実践」（高校 2 年） 2. 研究協議会 国語 「公開授業をめぐって-新学習指導要領に向けて-」 数学 「公開授業をめぐって」「創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発-中高 6 ヶ年から大学へ-」 技術・家庭（家庭分野）	平成23年11月26日	308名

		「公開授業をめぐって」「本校での中高一貫の家庭科カリキュラムについて」 保健体育 「公開授業をめぐって」「筑駒LBCの取り組みについて」 3. 講演会 「SSH の成果と課題、今後への期待」 講師：清原洋一氏（文部科学省）		
	SSH 交流枠支援教員研修 数学科教員研修会	SSH 教材についての報告と研究協議 本校から3報、参加校の埼玉県立春日部高等学校、石川県立小松高等学校、愛知県立岡崎高等学校、大阪府立大手前高等学校から各1報 本校生徒（高校3年）による研究発表2報	平成24年3月4日	101名
附属坂戸高等学校	第15回総合学科研究大会	「新しいキャリア教育と持続発展教育(ESD)」	平成24年2月23日・24日	のべ193名
附属視覚特別支援学校	第9回 視覚障害教育研究協議会	以下の13のテーマにそって授業公開および各分科会で報告 1. 心がはざむ音楽リズム 2. 小学部段階の点字指導 3. 視覚障害に配慮した重複障害児の教育実践 4. 単元の導入段階において必要な算数・数学的イメージ 5. 国語科における読み書きの指導 6. 社会科における具体的なイメージを育てる指導 7. 小・中学部における音声付き測定機器の活用 8. 盲学校における球技指導 9. ものづくりー調理実習ー 10. 音楽における個別指導の観点 11. 来年度より使用される中学部の点字教科書について 12. 視覚障害者用ブロックを中心とした路面情報の活用 13. 焼き魚の食べ方をはじめとした生活動作	平成24年2月18日	231名
附属聴覚特別支援学校	筑波大学連携研究報告会（学系と附属聴覚特別支援学校）	本校における実践的な教育研究成果の発表 【口頭発表】9件 ①特別支援学校(聴覚障害) 幼稚園における文字活用ー文字提示および文字習得の観点からー ②聴覚障害児における作文の特徴ー口頭による物語産出課題との関連を通してー ③特別支援学校(聴覚障害)小学部の教科学習における教師の発問の特徴 ④物語文の読解授業における聴覚障害児の文章理解過程に関する研究ー読書力が高い水準にある聴覚障害児を対象としてー ⑤大学生との連携による中学部生徒を対象とした自立活動の授業ー聴覚障害生徒のプレゼンテーション技能の向上をめざした三年間の試みー ⑥特別支援学校(聴覚障害)小学部における国語の授業の実接報告 ⑦聴覚障害幼児の歌遊びー子どもたちが楽しめる教材を通してー ⑧附属聾学校小学部での音楽科の授業を参観して ⑨特別支援学校(聴覚障害)高等部における数学教育の実践について	2012年3月8日	40名
附属大塚特別支援学校	第46回 知的障害教育研究協議会	「かかわる・つながる・カリキュラムー系統性・発展性のある指導計画と授業づくりー」を研究テーマとした知的障害を主障害とする特別支援学校の教育課程に関する研究である。学習内容表と個別教育新計画に基づく、教育計画の在り方を発表した。	平成24年2月17日	240名
附属桐が丘特別支援学校	自立活動実践セミナー2011	・講演 肢体不自由教育における自立活動の指導の充実を目指して 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官 下山直人 ・シンポジウム「自立活動における教師の専門性を見つめる」 東京都立あきる野学園校長 江崎 安幸、理学療法士 原 康夫、本本校PTA会長 佐藤達恵 1コース：自立活動の指導における「個別の指導計画」のあり方 2コース：いのちを守る力を育てる静的弛緩誘導法 3コース：自立活動における動作法の活用	平成23年8月1日～3日	
	平成23年度文部科学省特別支援教育総合推進事業1年次中間報告会（第40回肢体不自由教	・肢体不自由教育の専門性に基づく指導の展開ー学習に難しさがある子どもの目標設定と指導の重点化ー 第1分科会：当該学年の目標及び内容、進度での学習が難しい子どもへの国語の指導	平成24年2月16日～17日	113名 学生12名

	育実践研究協議会)	第2文科会：当該学年の目標及び内容、進度での学習が難しい子どもへの算数の指導 第3分科会：教科を中心とする学習に難しさがある子どもへの指導		
附属久里浜特別支援学校	世界自閉症デー in 横須賀	【自閉症の世界を知ろうよ】 ・災害時の自閉症の方への支援について ・本校の教育	平成23年4月21日	200名
	公開セミナー	【自閉症を持つ人とのコミュニケーション～DIR/Floor-time モデルによる自閉症の療育プログラム】	平成23年12月3日	100名
	自閉症教育実践研修講座	【知的障害を伴う自閉症幼児児童のための自立活動の指導～思い、考え、行動する子どもの育成を目指した授業作り】	平成24年2月9日～10日	300名
附属学校教育局	平成23年度 筑波大学附属学校研究発表会	研究主題「人とつながる・地域とつながる・異文化とつながる力を育てる」～筑波大学附属学校からの発信～ 1. 研究発表Ⅰ「先導的教育拠点研究」事業の推進から ① プロジェクト2「子どものコミュニケーション能力を育てる」 ② 「附属学校におけるSCの活動と学校との連携」 ③「超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業」中間報告 2. 研究発表Ⅱ「国際教育拠点研究」事業の推進から「グローバル人材の育成のために」 ①視覚特別支援学校の「国際教育」 ②プロジェクト4「国際的資質を育てる」におけるアンケート調査について ③「オリンピック教育」について	平成24年2月25日	116名

(4) 教育方法、カリキュラム等のモデル開発及び成果の発信状況

本学附属学校においては、筑波大学又は附属学校独自の教育モデルの開発や文部科学省をはじめ各種団体の研究指定事業等に取り組んでいる。

〔①筑波大学又は附属学校の独自の取組〕

	名称	内容	期間	成果の発信状況
大学・特別支援教育研究センター・障害5附属学校（大塚特別支援学校を事業実施場所とする）	超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業	知的・重複・発達障害児の早期発見・早期診断を行い、教育・指導方法のモデルとなる実践研究を展開し、効果的な指導の計画・方法並びに家庭や関係諸機関との円滑な連携について、「個別的教育支援計画」等に基づく超早期教育支援システムを構築し、その性かを全国に発信する。	平成22年度～24年度	平成22年度報告書を作成した。
附属小学校附属中学校附属高等学校大学	小中高一貫カリキュラムの開発研究	筑波大学附属小学校・中学校・高等学校と筑波大学の教員からなる「四校研」を核とした小中高の一貫カリキュラムの開発研究に取り組み、小中高の指導における共通した教育理念を抽出し、それをもとにした各教科の教育実践を整理したものを「中間報告書」として発信した。	平成22年度～27年度	平成23年度に中間報告書を作成した。

〔②文部科学省等による研究指定等による取組〕

	名称等	内容	期間	成果の発信状況
附属駒場中学校・高等学校	事業名称：スーパーサイエンスハイスクール 事業主体：文部科学省 事業概要：将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し、理数教育に重点を置いた研究開発を行う。	国際社会で活躍する科学者・技術者を育成する中高一貫カリキュラム研究と教材開発～中高大院の連携を生かしたサイエンスコミュニケーション能力の育成～	第二期平成19年度～23年度	SSH 研究開発を中心に、以下の通り普及活動を行った。 ①全教科・全生徒で取り組む SSH の実践例の普及を図った。 ②数学科では、毎年「創造的教材・指導法及びカリキュラムの開発」を発行するとともに、本校数学科教員が北海道・秋田県・佐賀県・宮崎県・熊本県を訪問し、現地での普及を図った。 ③数学科で、平成20年度から毎年本校を会場として SSH 交流枠支援教員研修「数学科教員研修会」を開催

				し、全国50校（100名）以上の中高の数学教員に対し、本校で開発した教材の普及を図った。 ④理科では、SSH 研究で開発した実験教材を「先駆的な科学者・技術者を育成するための理科実験」として平成17年3月に発行した。同時に、本校を会場として「理科実験研修会」を開催し、全国の中高の理科教員に対し、本校で開発した実験教材の普及を図った。
附属坂戸高等学校	事業名称：法教育実践研究校 事業主体：社団法人商事法務研究会 事業概要：法教育を実践している、あるいはこれから実践しようとしている小・中・高等学校に対して、教材開発等の推進を図るため支援を行う。	総合学科高校における体験的な法律学習教材の開発を行う。従来の法律学習は、事例（問題）を提示・その解決手段として法律を捉える対処法的な視点を主に展開されるが、高校段階において真に法律の役割・必要性を理解するには、法律を予防法的に捉える視点での学びが有効だと考える。問題ではなく日常の生活を起点に法律がどう生きているか体験的に学ぶ機会の提供と直接専門家の助言を得られる教材の開発により、法律に対する肯定的な態度を養い積極的に活用できる人材を育成する。	平成21年度～23年度	法意識に関する高校生対象のワークシートの研究を行った。また実務者（弁護士）や研究者（大学教授、大学院生）との連携の下、実験授業を行った。（H21、H22）。「法と教育学会」に参加、各都道府県教育関係者や法曹関係者、法務省関係者と交流し情報収集を行った。（H22）
附属視覚特別支援学校	事業名称：自立教科等担当教員講習会（理学療法科担当教員講習会） 事業主体：文部科学省 事業概要：視覚に障害のある生徒に対する職業教育としての理学療法を担当する教員を対象とした研修を行う	医療関係者による講義、病院・施設等の見学等を通して理学療法および視覚障害教育の専門性を高める研修内容である。	単年度事業 22年度・23年度委託	理学療法科担当教員講習会を開催しての成果の報告と日常的な情報発信
附属聴覚特別支援学校	事業名称：自立教科等担当教員講習会（聴覚障害教育担当教員講習会） 事業主体：文部科学省 事業概要：聴覚障害のある幼児児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の担当教員等を対象とした研修を行う	大学教員等による講演、本校教員による講義、幼稚部から高等部専攻科までの授業公開と授業研究会を行い、理論と実践を通して聴覚障害教育の専門性を高める研修内容である。	単年度事業であるが、毎年委託を受けている 平成16年度～23年度	聴覚障害教育担当教員講習会を開催し、成果を報告してきた。
附属桐が丘特別支援学校	事業名称：特別支援教育に関する教育課程編成等についての実践研究 事業主体：文部科学省 事業概要：学習に遅れがある肢体不自由児に対する国語、算数・数学の指導内容の精選・重点化、指導の工夫に関する研究	学習に遅れがあるために学年相応の学習が難しい肢体不自由児を対象に教科指導の基礎的・基本的事項が多く含まれる国語、算数・数学に焦点を当て小学部から高等部までの国語、算数・数学の指導内容をどのように精選し、どのような基礎的・基本的な事項に重点をおいて指導を行うと効果的な指導になる野かを探る。	平成23年度～24年度	平成23年度第40回肢体不自由教育実践研究協議会で第1次報告を行った。

（5）教員免許状更新講習への取組状況

教員免許状更新制度の施行に伴い、本学では選択科目として附属学校実践演習を実施しており、全附属学校が講習の企画運営に参画している。また、附属学校教員の中には必修科目、選択科目について講師を担当している者もいる。

平成23年度 教員免許状更新講習における各附属学校教員の講師担当状況

* 講師は文部科学省にて承認されている講師である。

担当講師の 所属	必修科目担当講師 (必修科目は1講習12時間、4コマで構成)			選択科目担当講師 (選択科目は1講習6時間)		
	実施日(会場)担当コマ数	担当講師数 (のべ)	担当時間数 (のべ)	選択 種別	実施日 (会場)	担当講師数 (のべ)
附属小学校				選択 B	2011.08.26(附属駒場中・高等学校)	1
				選択 D	2011.08.06(附属小学校)	4
					2011.08.22(附属小学校)	4
					2011.10.29(附属小学校)	4
附属中学校	2011.08.02 (筑波キャンパス) 2 コマ	2	6	選択 B	2011.08.04(筑波キャンパス)	1
					2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	1
	2011.10.30 (東京キャンパス文京校舎) 2 コマ	2	6	選択 D	2011.07.02(附属中学校)	1
					2011.11.12(附属中学校)	1
附属高等学校				選択 B	2011.08.4(筑波キャンパス)	1
				選択 B	2011.08.26(附属駒場中・高等学校)	1
				選択 D	2011.12.03(附属高等学校)	3
附属駒場中・ 高等学校	2011.08.24 (NTT DATA 駒場研修センター) 1 コマ	1	3	選択 B	2011.08.26(附属駒場中・高等学校)	5
				選択 C	2011.08.27(附属駒場中・高等学校)	5
				選択 D	2011.08.25(附属駒場中・高等学校)	4
					2011.11.26(附属駒場中・高等学校)	1
附属坂戸高等 学校				選択 B	2011.08.26(附属駒場中・高等学校)	1
				選択 D	2011.08.06(附属坂戸高等学校)	4
					2011.12.10(附属坂戸高等学校)	4
附属視覚特別 支援学校				選択 B	2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	7
				選択 C	2011.08.21(附属視覚特別支援学校)	4
				選択 D	2011.06.25(附属視覚特別支援学校)	3
附属聴覚特別 支援学校				選択 B	2011.06.11(筑波キャンパス)	1
					2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	1
				選択 C	2011.08.21(附属視覚特別支援学校)	1
				選択 D	2011.06.25(附属聴覚特別支援学校)	3
					2011.08.25(附属聴覚特別支援学校)	3
附属大塚特別 支援学校				選択 B	2011.08.21(附属視覚特別支援学校)	1
				選択 D	2011.06.25(附属大塚特別支援学校)	4
					2011.11.05(附属大塚特別支援学校)	4
附属桐が丘特 別支援学校				選択 B	2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	2
					2011.08.21(附属視覚特別支援学校)	1
				選択 D	2011.08.03(附属桐が丘特別支援学校)	2
					2011.06.25(附属桐が丘特別支援学校)	3
附属久里浜特 別支援学校				選択 B	2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	1
				選択 D	2011.06.25(附属久里浜特別支援学校)	2
					2011.11.05(附属久里浜特別支援学校)	2
附属学校 教育局	2011.06.04 (筑波キャンパス) 2 コマ	2	6	選択 B	2011.06.11(筑波キャンパス)	1
	2011.08.02 (筑波キャンパス) 4 コマ	4	12		2011.08.04(筑波キャンパス)	1
	2011.08.24 (NTT DATA 駒場研修センター) 2 コマ	2	6		2011.08.20(附属視覚特別支援学校)	1
	2011.10.29 (東京キャンパス文京校舎) 2 コマ	2	6		2011.08.26(附属駒場中・高等学校)	2
	2011.10.30 (東京キャンパス文京校舎) 4 コマ	4	12			
合計		19人	57時間			96人
* 元附属学校 教員を含む	附属学校教員等による必修講習講師の担当総時間数 48時間			附属学校教員等による選択講習講師の担当総時間数 576時間		

必修 A 受講者受理状況

開設 学部	開設地区	科目 コード	科目名	開催日	定員	申込数	定員 充足率	受理数	確定率	講師 派遣	会場 支援
必修 A	筑波キャンパス		教育の最新事情	6月4日 6月5日	250	224人	90%	222人	89%		○
必修 A	筑波キャンパス		教育の最新事情	8月1日 8月2日	500	487人	97%	486人	97%	○	○
必修 A	東京地区 (NTT DATA 駒場研 修センター)		教育の最新事情	8月23日 8月24日	290	264人	91%	263人	91%	○	
必修 A	東京地区 (NTT DATA 駒場研 修センター)		教育の最新事情	10月29日 10月30日	250	226人	90%	218人	87%	○	○

選択 B 受講者受理状況

開設 学部	開設地区	科目 コード	科目名	開催日	定員	申込数	定員 充足率	受理数	確定率	講師 派遣	会場 支援
選択 B	筑波キャンパス	10011	新教育課程における言語活動の重視と読解力の育成	6月11日	50	43人	86%	43人	86%		○
選択 B	筑波キャンパス	10013	国際理解の観点から見た社会科(歴史)教育	6月11日	45	41人	91%	40人	89%		○
選択 B	筑波キャンパス	10015	世界の授業、日本の授業～算数・数学授業の国際比較～	6月11日	50	43人	86%	42人	84%		○
選択 B	筑波キャンパス	10017	理科好きな子どもを育てる授業	6月11日	50	40人	80%	40人	80%		○
選択 B	筑波キャンパス	10019	英語の窓から日本語を見る	6月11日	60	40人	67%	39人	65%		○
選択 B	筑波キャンパス	10023	図画工作・美術教育を複眼的に考える	6月11日	30	29人	97%	29人	97%	○	○
選択 B	筑波キャンパス	10025	心の教育からの脱却と道徳教育	6月11日	100	47人	47%	47人	47%		○
選択 B	筑波キャンパス	10031	学校生活で苦戦する子どもへの援助	6月11日	25	22人	88%	22人	88%	○	○
選択 B	筑波キャンパス	10021	変容する子どもと保健体育の授業	6月12日	60	44人	73%	44人	73%		
選択 B	筑波キャンパス	10028	キャリア教育	6月12日	50	44人	88%	43人	86%		
選択 B	筑波キャンパス	10029	I C T と視聴覚メディアの教育利用	6月12日	22	22人	100%	22人	100%		
選択 B	筑波キャンパス	10034	特別なニーズのある子どもの理解と支援	6月12日	50	44人	88%	44人	88%		
選択 B	筑波キャンパス	10037	新聞活用(N I E、新聞づくり)で育む言語力	6月12日	60	55人	92%	54人	90%		
選択 B	筑波キャンパス	10012	新教育課程における言語活動の重視と読解力の育成	8月4日	50	45人	90%	45人	90%		○
選択 B	筑波キャンパス	10014	社会科(公民)授業における参加型学習の活用	8月4日	60	56人	93%	56人	93%		○
選択 B	筑波キャンパス	10016	愉しみ Math:算数・数学的活動の仕方を教える、その方法を探る	8月4日	100	95人	95%	95人	95%	○	○
選択 B	筑波キャンパス	10018	理科好きな子どもを育てる授業	8月4日	50	47人	94%	47人	94%		○
選択 B	筑波キャンパス	10020	英語の窓から日本語を見る	8月4日	60	56人	93%	56人	93%		○
選択 B	筑波キャンパス	10022	現代的課題に対応した健康教育の考え方と進め方	8月4日	60	58人	97%	58人	97%		○
選択 B	筑波キャンパス	10024	書写・書道教育の今日的課題	8月4日	40	39人	98%	39人	98%		○
選択 B	筑波キャンパス	10026	心の教育からの脱却と道徳教育	8月4日	100	90人	90%	89人	89%		○
選択 B	筑波キャンパス	10027	進路と教育	8月4日	50	49人	98%	49人	98%		○
選択 B	筑波キャンパス	10030	I C T と視聴覚メディアの教育利用	8月4日	22	19人	86%	19人	86%		○
選択 B	筑波キャンパス	10032	学校生活で苦戦する子どもへの援助	8月4日	80	71人	89%	71人	89%	○	○
選択 B	筑波キャンパス	10035	特別なニーズのある子どもの理解と支援	8月4日	50	47人	94%	47人	94%	○	○
選択 B	附属視覚特別支援学校	10036	特別なニーズのある子どもの理解と支援	8月20日	50	41人	82%	41人	82%	○	○

選択 B	附属視覚特別支援学校	10046	点字と手引きを学ぼう～視覚に障害のある児童・生徒の理解のために～	8月20日	25	24人	96%	24人	96%	○	○
選択 B	附属視覚特別支援学校	10047	触って考える数学	8月20日	20	20人	100%	20人	100%	○	○
選択 B	附属視覚特別支援学校	10048	日本歌曲の本質を生かした授業作り	8月20日	22	20人	91%	20人	91%		○
選択 B	附属視覚特別支援学校	10049	就学前の子どもたちと家族への支援	8月20日	50	46人	92%	45人	90%	○	○
選択 B	附属視覚特別支援学校	10050	幼稚園や小中学校等に在籍する気になる子への支援～発達障害に焦点をあてて～	8月21日	100	86人	86%	85人	85%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10033	学校生活で苦戦する子どもへの援助	8月26日	72	66人	92%	63人	88%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10038	演劇の専門家とつくる教室	8月26日	24	20人	83%	20人	83%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10039	法教育入門～契約から裁判員制度まで～	8月26日	40	36人	90%	36人	90%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10040	考える算数・体験的算数	8月26日	200	176人	88%	172人	86%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10041	数学的能力を育成する新しい教材～筑駒の授業から～	8月26日	40	37人	93%	36人	90%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10042	ゲノム情報を活用する遺伝子実験の紹介	8月26日	20	19人	95%	19人	95%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10043	物理を学ぶ生徒の誤概念とその克服法	8月26日	30	12人	40%	12人	40%	○	
選択 B	附属駒場中・高等学校	10044	五感で学ぶ英文法～色・音・文字をからませて～	8月26日	72	64人	89%	63人	88%		
選択 B	附属駒場中・高等学校	10045	新聞活用（N I E、新聞づくり）で育む言語力	8月27日	60	54人	90%	51人	85%		

選択C受講者受理状況

開設学部	開設地区	科目コード	科目名	開催日	定員	申込数	定員充足率	受理数	確定率	講師派遣	会場支援
選択 C	筑波キャンパス	10052	国際関係のフロンティア～国際的人材を養う日常の問いかけ～	6月18日	40	24人	60%	24人	60%		○
選択 C	筑波キャンパス	10058	身近な物質の不思議さ・面白さ	6月18日	20	20人	100%	20人	100%		○
選択 C	筑波キャンパス	10060	身近な数学～「折り紙数学」と「統計リテラシー」～	6月18日	60	40人	67%	40人	67%		○
選択 C	筑波キャンパス	10063	リスクに対処する工学入門～安全で安心できる社会のために～	6月18日	40	11人	28%	11人	28%		○
選択 C	筑波キャンパス	10066	電子回路とパソコンによる音楽音響制作	6月18日	10	9人	90%	8人	80%		○
選択 C	筑波キャンパス	10067	ガイアの科学：生物進化と地下資源	6月18日	50	32人	64%	32人	64%		○
選択 C	筑波キャンパス	10075	「感じて動く」～運動が苦手な人も楽に動けるようになる秘訣～	6月18日	50	48人	96%	47人	94%		○
選択 C	筑波キャンパス	10077	鉛筆や水彩絵具で描く ～静物・人物～	6月18日	30	29人	97%	26人	87%		○
選択 C	筑波キャンパス	10078	楽しく伝えるビジュアルデザイン	6月18日	35	30人	86%	30人	86%		○
選択 C	筑波キャンパス	10081	図書館を使いこなす～読書共育の実現に向けて～	6月18日	50	44人	88%	44人	88%		○
選択 C	筑波キャンパス	10055	組織マネジメントと人材育成	6月19日	100	44人	44%	44人	44%		
選択 C	筑波キャンパス	10065	「二宮尊徳」から現代を考える	6月19日	40	25人	63%	25人	63%		
選択 C	筑波キャンパス	10072	歴史・教育・文化	6月19日	40	33人	83%	32人	80%		
選択 C	筑波キャンパス	10076	発達段階に応じた球技指導のポイントと基礎技能の合理的な習得法	6月19日	40	38人	95%	38人	95%		
選択 C	筑波キャンパス	10080	思春期の性の健康課題とその援助	6月19日	30	26人	87%	26人	87%		
選択 C	筑波キャンパス	10082	イタズラ実験オモシロ工作	6月19日	60	58人	97%	57人	95%		
選択 C	筑波キャンパス	10083	ストレスマネジメントスキル	6月19日	50	46人	92%	46人	92%		
選択 C	筑波キャンパス	10051	子どもの公平感や信頼感の発達をゲーム理論実験を体感して学ぶ	8月5日	60	56人	93%	56人	93%		○

平成23年度 筑波大学附属学校教育局データ集

選択C	筑波キャンパス	10053	アジア・太平洋戦争を考える～ 沖縄・京都・広島そして茨城～	8月5日	80	77人	96%	77人	96%		○
選択C	筑波キャンパス	10054	世界の文学と言語を料理する	8月5日	50	47人	94%	47人	94%		○
選択C	筑波キャンパス	10056	組織マネジメントと人材育成	8月5日	100	75人	75%	74人	74%		○
選択C	筑波キャンパス	10059	プラズマの知られざる世界を学 ぶ～身近なプラズマから素粒 子、核融合まで～	8月5日	40	39人	98%	39人	98%		○
選択C	筑波キャンパス	10061	環境問題を身近にある化学から 学ぶ	8月5日	40	39人	98%	39人	98%		○
選択C	筑波キャンパス	10062	情報学の最前線を基礎から学ぶ	8月5日	60	36人	60%	36人	60%		○
選択C	筑波キャンパス	10064	現代社会におけるエネルギー技 術・資源問題	8月5日	50	47人	94%	47人	94%		○
選択C	筑波キャンパス	10068	里山探検隊	8月5日	50	50人	100%	50人	100%		○
選択C	筑波キャンパス	10069	筑波山は噴火したか？	8月5日	40	39人	98%	39人	98%		○
選択C	筑波キャンパス	10070	大気現象の科学と地球規模の環 境変動	8月5日	20	20人	100%	20人	100%		○
選択C	筑波キャンパス	10071	フィールドで食べる！触れる！ 学ぶ！～農林技術センターでの 体験型学習～	8月5日	30	30人	100%	30人	100%		○
選択C	筑波キャンパス	10073	効果的な球技での技術・戦術の 練習と指導法～運動学習研究か ら～	8月5日	50	48人	96%	48人	96%		○
選択C	筑波キャンパス	10074	現代のからだの問題と脳機能そ して運動・スポーツの役割	8月5日	40	40人	100%	40人	100%		○
選択C	筑波キャンパス	10084	ふだん聞けない植物の話～筑波 実験植物園で学ぶ～	8月5日	50	50人	100%	50人	100%		○
選択C	附属視覚特別支援学校	10079	東洋医学的アプローチによる生 徒の健康管理	8月21日	21	21人	100%	21人	100%		
選択C	附属視覚特別支援学校	10094	リハビリテーションの理論と実際	8月21日	20	20人	100%	20人	100%	○	
選択C	附属視覚特別支援学校	10095	箏で「さくら」を弾こう	8月21日	20	20人	100%	20人	100%	○	
選択C	附属視覚特別支援学校	10096	特別なニーズのある子どものた めの食育	8月21日	30	25人	83%	24人	80%	○	
選択C	附属視覚特別支援学校	10097	ものづくり・からだづくり～手 織りの良さを体感しよう・Gボ ールで楽しく身体を動かそう～	8月21日	22	22人	100%	22人	100%	○	
選択C	附属駒場中・高等学校	10057	組織マネジメントと人材育成	8月26日	60	57人	95%	57人	95%		
選択C	附属駒場中・高等学校	10085	教員のためのパソコン再入門＜ 初心者編＞～表計算ソフト・ インターネットを活用し、子ど もへの指導をバージョンアップ～	8月26日	30	27人	90%	26人	87%	○	
選択C	附属駒場中・高等学校	10086	教員のためのパソコン再入門＜ 初心者編＞～表計算ソフト・ インターネットを活用し、子ど もへの指導をバージョンアップ～	8月27日	30	27人	90%	26人	87%	○	○
選択C	附属駒場中・高等学校	10087	学校トラブルへの法律救急 箱・・・すべきことは？してはい けないことは？	8月27日	72	66人	92%	64人	89%		○
選択C	附属駒場中・高等学校	10088	私たちのからだと地球を支える 身近なマイクロワールド	8月27日	40	34人	85%	34人	85%	○	○
選択C	附属駒場中・高等学校	10089	「資料の活用」・「データの分析」 必修化で育む課題解決力～目 的・授業運営・評価～	8月27日	40	38人	95%	37人	93%		○
選択C	附属駒場中・高等学校	10090	楽しく学ぶ天気予報活用術	8月27日	72	67人	93%	65人	90%	○	○
選択C	附属駒場中・高等学校	10091	発達期のこころと行動～小児 科・精神科の視点から～	8月27日	200	182人	91%	179人	90%		○
選択C	附属駒場中・高等学校	10092	愛着から発達を考える～CirCle of SeCurityを手がかりに～	8月27日	40	34人	85%	33人	83%		○
選択C	附属駒場中・高等学校	10093	ひとにも教えたい宇宙の話	8月27日	150	143人	95%	142人	95%		○

選択D受講者受理状況

開設 学部	開設地区	科目 コード	科目名	開催日	定員	申込数	定員 充足率	受理数	確定率	講師 派遣	会場 支援
選択D	附属視覚特別支援学校	10107	附属視覚特別支援学校実践演習	6月25日	22	16人	73%	16人	73%		○
選択D	附属聴覚特別支援学校	10108	附属聴覚特別支援学校実践演習	6月25日	25	11人	44%	11人	44%		○
選択D	附属大塚特別支援学校	10110	附属大塚特別支援学校実践演習	6月25日	36	35人	97%	34人	94%		○
選択D	附属桐が丘特別支援学校	10112	附属桐が丘特別支援学校実践演習	6月25日	25	23人	92%	22人	88%		○
選択D	附属久里浜特別支援学校	10114	附属久里浜特別支援学校実践演習	6月25日	40	37人	93%	36人	90%		○
選択D	附属中学校	10100	附属中学校実践演習	7月2日	35	35人	100%	35人	100%		○
選択D	附属桐が丘特別支援学校	10113	附属桐が丘特別支援学校実践演習	8月3日	20	19人	95%	19人	95%		○
選択D	附属小学校	10098	附属小学校実践演習	8月6日	200	189人	95%	184人	92%		○
選択D	附属坂戸高等学校	10105	附属坂戸高等学校実践演習	8月6日	40	27人	68%	27人	68%		○
選択D	附属小学校	10099	附属小学校実践演習	8月22日	200	192人	96%	190人	95%		○
選択D	附属駒場中・高等学校	10103	附属駒場中・高等学校実践演習	8月25日	60	54人	90%	54人	90%		
選択D	附属聴覚特別支援学校	10109	附属聴覚特別支援学校実践演習	8月25日	30	29人	97%	29人	97%		
選択D	附属小学校	10116	附属小学校実践演習（追加）	10月29日	100	75人	75%	74人	74%		○
選択D	附属大塚特別支援学校	10111	附属大塚特別支援学校実践演習	11月5日	36	35人	97%	35人	97%		○
選択D	附属久里浜特別支援学校	10115	附属久里浜特別支援学校実践演習	11月5日	40	39人	98%	39人	98%		○
選択D	附属中学校	10101	附属中学校実践演習	11月12日	35	31人	89%	31人	89%		○
選択D	附属駒場中・高等学校	10104	附属駒場中・高等学校実践演習	11月26日	60	46人	77%	44人	73%		○
選択D	附属高等学校	10102	附属高等学校実践演習	12月3日	50	49人	98%	48人	96%		○
選択D	附属坂戸高等学校	10106	附属坂戸高等学校実践演習	12月10日	40	36人	90%	35人	88%		○

受講者数	全体	うち局関係
必修A～選択D 合計	6,119人	4,982人
必修A	1,201人	1,201人
選択B	1,907人	1,580人
選択C	2,033人	1,401人
選択D	978人	800人
理療科		0人
総計	6,119人	4,982人

(6) 留学生等の受け入れ及び派遣状況

本学附属学校では、近年、アジア等の海外の生徒を受け入れたり、また、附属学校の生徒を海外に派遣している。

【受 入】						平成24年 3月31日現在				
年 度	附属学校	受入人数 (実績・ 予定)	期 間	派遣元（国名・学校 名）	寄宿先（ホーム ステイ・寄 宿舍等別）	備 考	平成 22年度	平成 21年度	平成 20年度	平成 19年度
	附属小学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属中学校	4名	平成23年11月27日 ～12月7日	シンガポール共和国 ・ HWA CHONG 中学校		附属高等学校での 交流会	8名	3名	1名	3名
	附属駒場中学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属高等学校	4名	平成23年11月27日 ～12月 7日	シンガポール共和国 ・ HWA CHONG校	ホームステイ	通常授業に参加	8名	12名	7名	5名
		20名	平成23年 7月12日	北京市高校		通常授業に参加	20名	39名		
	附属駒場高等 学校	1名	平成23年 6月20日 ～7月20日	アメリカ合衆国	ホームステイ	通常授業に参加	1名	0名	0名	0名

平成23年度 筑波大学附属学校教育局データ集

平成23年度	附属坂戸高等学校	4名	平成23年7月9日～7月17日	インドネシア共和国・ボゴール農科大学・コルニタ高等学校	ホームステイ・合宿所・ホテル	トヨタ財団アジア隣人プログラム	0名	6名	0名	0名
		2名	平成23年11月6日～11月12日		ホームステイ・ホテル					
	附属視覚特別支援学校	1名	平成22年度から3年間	モンゴル国	視覚特別支援学校寄宿舎	専攻科鍼灸手技療法科	1名	2名	2名	1名
		1名	平成23年度から2年間	ドイツ	民間施設	専攻科音楽科				
	附属聴覚特別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属大塚特別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属桐が丘特別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属久里浜特別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
	計	37名					38名	62名	10名	9名

【派遣】

年度	附属学校	受入人数 (実績・予定)	期 間	派遣元 (国名・学校名)	寄宿先 (ホームステイ・寄宿舎等別)	備 考	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
平成23年度	附属小学校	0名					0名	0名	0名	0名
	附属中学校	2名	平成24年3月24日～4月4日	シンガポール共和国・HWA CHONG中学校	ホームステイ		3名	6名	5名	5名
	附属駒場中学校	1名	平成23年7月21日～8月20日	アメリカ合衆国	ホームステイ		0名	0名	0名	0名
	附属高等学校	4名	平成24年3月24日～4月4日	シンガポール共和国・HWA CHONG校	ホームステイ	通常授業に参加	9名	9名	8名	9名
		19名	平成23年10月9日～10月16日	北京市高校		通常授業に参加	20名	20名		
		2名	平成23年8月13日～8月21日	中華民国・北京第四中学校	寄宿舎	国際ビエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラムに参加				
	附属駒場高等学校	1名	平成23年6月10日～6月20日	フィンランド	施設	ミネアム ユース キャンプ	15名	10名	11名	4名
		2名	平成23年8月12日～8月19日	タイ	施設	東芝地球未来会議				
		15名	平成23年12月13日～12月18日	中華民国・国立台中第一高級中学	民間宿泊施設等	SSH 生徒研究交流会				
		1名	平成24年3月23日～3月31日	アメリカ合衆国	施設	ESD 日米青年交流プログラム				
	附属坂戸高等学校	3名	平成23年12月22日～平成24年1月8日	インドネシア共和国	民間宿泊施設	国際的視野に立った卒業研究	6名	2名	1名	0名
		4名	平成24年3月23日～3月31日	インドネシア共和国ボゴール農科大学附属コルニタ高校	民間宿泊施設	トヨタ財団アジア隣人プログラム				
		1名	平成23年3月23日～3月31日	アメリカ合衆国	民間宿泊施設等	ESD 日米青年交流プログラム				
		2名	平成23年8月18日～24日	インドネシア共和国	民間宿泊施設	日立環境財団NPOプログラム				
		1名	平成23年11月20日～11月26日	台湾	施設・ホームステイ	日本高校生台湾研修 (台湾教育部主催)				
		1名	平成23年8月22日～	オランダ王国フローニンゲン州	ホームステイ	留学				
		1名	平成23年7月17日～	アメリカ合衆国カンザス州	ホームステイ	留学				

	1名	平成24年3月23日 ～3月31日	ドイツ連邦共和国・ フランス共和国	施設	ESD国際交流プ ログラム				
附属視覚特別 支援学校	0名					5名	0名	0名	0名
附属聴覚特別 支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
附属大塚特別 支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
附属桐が丘特 別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
附属久里浜特 別支援学校	0名					0名	0名	0名	0名
計	61名					58名	47名	25名	18名

(7) 国際交流協定締結状況

項目 学校名	締結相手（国名、機関名）	協定締結日	締結期間
附属中学校	中華人民共和国北京師範大学第二附 属高校	2006年12月1日	2006.12.1～2011.11.30
附属高等学校	中華人民共和国北京師範大学第二附 属高校	2006年12月1日	2006.12.1～2011.11.30
附属駒場中・高等学校	中華人民共和国北京師範大学第二附 属高校	2006年12月1日	2006.12.1～2011.11.30
附属坂戸高等学校	インドネシア共和国ボゴール農科大 学附属コルニタ高等学校	2011年3月14日	2011.3.14～2016.3.13
附属聴覚特別支援学校	フランス国立パリ聾学校	2011年3月22日	2011.3.22～2016.3.21
附属大塚特別支援学校	大韓民国大邱大学校大邱保明学校	2009年12月29日	2009.12.29～2014.12.28
附属桐が丘特別支援学校	大韓民国三育再活学校	2010年2月3日	2010.2.3～2013.2.2
附属久里浜特別支援学校	中華人民共和国寧波市達敏学校	2011年8月29日	2011.8.29～2016.8.28

(8) 国際教育事業への取り組み状況(H23)

本学附属学校では、各附属学校ごとに国際教育事業として海外の学校との児童生徒や教員の交流事業を実施している。

学校名	分 類	事 業 名	相手国	概 要	派遣人数		受入人数		期間(時期)	その他
					教員	生徒	教員	生徒		
附属小学校	研究交流	イスラエル・ワインズマン 研究所より招聘される	イスラエル国	現地の小学校とワインズマン 研究所において、授業研 究会講師として、授業及び 講演を行った。	2				23.4.29～ 5.6 (9日間)	
	研究交流		ベトナム	現地の先生方に向けて算数 の講習会を行った	1				23.5.11～ 5.15 (5日間)	
	研究交流		カンボジア王国	現地の先生方に向けて体育 の講習会を行った	1				23.7.15～ 7.21 (7日間)	
	研究交流	日韓授業交流会	韓国	釜山、光州、全州において、 授業研究交流会を行う	5				23.10.8～ 10.12 (5日間)	
	研究交流	日米授業交流会	アメリカ 合衆国	スタンフォード大学、ミル ズ大学において、算数授業 交流会を行う	6				23.10.8～ 10.13 (6日間)	
	研究交流		マレーシア	マレーシア教育大学から教 員を受入れ、算数・理科を 通しての授業研究			1		23.10.24	

	研究交流	特別支援教育研究センターのボリビア共和国からの見学受け入れ	ボリビア共和国	国別研修（ボリビア）の特別支援教育教員養成制度強化のための視察			1		23.11.8	
	研究交流		シンガポール	教育視察（文化庁より依頼）を受け入れた			12		23.11.25	
	研究交流	W A L S（世界授業研究会）東京大会		附属小学校において、国際授業研究会を開催し、算数・理科の授業を公開した			80		23.11.28	
	研究交流	日韓授業交流会（第1陣）	韓国	附属小学校において、算数授業を通しての韓国の先生方との授業研究を行った			47		24.1.17	
	研究交流	日韓授業交流会（第2陣）	韓国	附属小学校において、算数授業を通しての韓国の先生方との授業研究を行った			27		24.1.26	
	研究交流	A P E C		附属小学校において、国際授業研究会を開催し、算数・理科の授業を公開した			100		24.2. 16	
	研究交流		中国	中国・東北師範大学附属小学校から教員の視察を受け入れた			24		24.2. 16	
	研究交流		中国	中国・成都市より教育視察を受け入れた			3		24.2. 27	
附属中学校	研究交流	ミャンマー教育相計画官、国立マグウェー大学教授の学校保健の視察	ミャンマー				2		23.11.30	
	短期留学交流	シンガポール ホアチョン中学との相互短期留学	シンガポール共和国	相互の学校及びホームステイで交流を行った	1	2			24.3.24～23.4.2（10日間）	
							2	6	23.12.6	附属高等学校への短期留学生と附属高等学校で交流会を行った。
	生徒間交流	北京私立ホイジア学校からの修学旅行生受入れ	中華人民共和国	修学旅行で来日したホイジア学校の生徒との交流と授業参加			1	23	23.1.31	
	研究交流	北京私立ホイジア学校への教員派遣	中華人民共和国	生徒の短期留学実施のための学校視察	2				23.3.26～3.29	
	研究交流	アメリカ合衆国ランカスターへの教員派遣	アメリカ合衆国	生徒の短期留学実施のための現地調査	1				23.3.18～3.24	
附属高等学校	生徒間交流	①中国北京市及び北京市高校との交流	中華人民共和国	相互の学校で授業、部活動、生徒会主催交流会、1日ホームステイで交流	2	19			23.10.9～10.16（8日間）	北京市人民政府および市内の3高校を訪問交流
							4	20	23.7.11～7.18（8日間）	
	生徒間交流	②アジア太平洋青少年リーダーズサミットへの生徒派遣	シンガポール共和国	東アジアを中心に13ヶ国の高校生が参加。シンガポールの政府機関見学、有識者講義討論、参加各国生徒による討論などを通じて交流を行った。	1	3			23.7.18～7.26（9日間）	会場：シンガポールホアチョン校
	生徒間交流	③国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラムへの生徒派遣	中華人民共和国		1	2			23.8.13～8.21（9日間）	会場：北京第四中学校 * 本学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）の事業として参加
	短期留学交流	シンガポール ホアチョン校との相互短期留学	シンガポール共和国	相互の学校及びホームステイで交流	1	4			24.3.23～4.4（13日間）	平成18年度から継続している
							1	4	23.11.27～12.7（11日間）	

附属駒場中・高等学校	大学への協力	筑波大学教員研修留学生との共同研究		研修留学生を音楽祭、文化祭等に招待し、日本の文化に触れてもらいまた生徒との交流を図る。授業の参観、意見交換も行う。				13 (留学生)	1日間×数回	本校をフィールドにして共同研究を行う
	生徒間交流	ミネアム・ユース・キャンプ	フィンランド	各国から選ばれた20か国程度の学生が集い、各得意分野に分かれ、合同研究をする。(本校生徒はIT分野)		1			23.6.10～6.20 (11日間)	
	生徒間交流	The World Scholar's Cup	マレーシア	日本代表チームの1員として、アジアやアメリカの生徒とディベートやワークショップを行う。		1			23.6.17～6.18 (2日間)	
	短期留学交流	YFU国際交換留学生(短期)の受入れ	アメリカ合衆国	米国からの留学生の授業体験。			1	1	23.6.20～7.20 (30日間)	本校生の自宅でホームステイをしながら、本校の授業に参加
	研究交流	ロボカップジュニア2011世界大会	トルコ	設計製作したロボットで競技を行う国際大会		1			23.7.6～23.7.10 (5日間)	チームで3位、個人で2位
	研究交流	イマジンカップ2011世界大会	アメリカ合衆国	イマジンカップ2011世界大会に出場する日本チームのサポート		2			23.7.7～7.15 (9日間)	
	研究交流	各種国際オリンピックへの生徒派遣	生物学：台湾 物理：タイ 数学：オランダ 情報：タイ	国際生物学・数学・情報オリンピックへの日本代表生徒の派遣	1	4			生物学：23.7.10～7.17 (8日間) 物理：23.7.10～7.18 (9日間) 数学：23.7.13～7.24 (12日間) 情報：23.7.22～7.29 (8日間)	生物学：金メダル2名 物理：日本選手団 引率教員1名 数学：金メダル1名 情報：銀メダル1名
	短期留学交流	米国ホームステイ	アメリカ合衆国	国や文化、習慣、ことばの違いを越えて、どんな人とも心を開いて交流する体験型プログラム。		1			23.7.21～8.20 (30日間)	言語交流研究所：ヒップファミリークラブ
	研究交流	立命館コアシSSH及び横浜サイエンスフロンティア高校コアシSSHによる生徒海外派遣	シンガポール共和国	NUS高(国立シンガポール大学付属校)に1週間滞在し、授業参観、実験参加など体験する。	1	1			23.7.21～7.28 (8日間)	SSH事業(JST主催)
			アメリカ合衆国	トーマスジェファソン高校にて、SSH校代表として理数科の研究発表を行う。あわせて、スミソニアン博物館などを見学。	1	1			24.1.4～1.9 (6日間)	
			韓国	KSA高(韓国サイエンス・アカデミー)にて、科学分野の授業参観、実験参加を行う。	1	1			24.3.25～3.31 (7日間)	
	生徒間交流	東芝国際交流財団「東芝地球未来会議2011」への生徒派遣	タイ	日本代表として、タイにてタイ、米国、ポーランドの代表生徒と環境やエネルギー問題について討論する。	2	2			23.8.12～8.19 (8日間)	
	教員研修	モンゴル国子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト(JICA)	モンゴル	モンゴル国研修員(数学と理科の教員15名)が本校を訪問し、授業参観、教員間交流を行った。			15		23.10.3	
	教員研修	中国政府日本教職員招聘プログラム(ACCU国際教育交流事業)	中華人民共和国	中国初等中等教員など30名が本校を訪問、授業参観、生徒との交流、教員との交流を行った。			30		23.10.14	

	文化交流	ジャパンリターンプログラムへの協力		「日本語サミット・ニッポン新発見塾」および「在日外交官日本語ブラッシュアップ研修」への協力			3	3	23.11.19	特定非営利活動法人 JRP 主催事業への協力
附属駒場中・高等学校	研究交流	台湾国立台中第一高級中学との生徒研究交流	台湾	台中第一高級中学にて、本校生徒と台中一中の生徒が理数科中心に研究発表をし、併せて授業参加、異文化交流をする。	4	15			23.12.13～12.18 (6日間)	SSH 事業の一環 (JST 主催)
	生徒間交流	ESD 日米青年交流プログラム	アメリカ合衆国	各地の史跡を訪れながら、米国社会、教育、文化、および持続発展教育 (ESD) の取り組みについて見聞を深める	1	1			24.3.23～3.31 (9日間)	
附属坂戸高等学校	教員研修	2011年 ESD 日米教員交流プログラム	アメリカ合衆国	米国 ESD 教員との交流・情報交換、各校の取り組み視察	1				23.4.22～5.7 (16日間)	
	教員研修	中国政府日本教職員招聘プログラム (ACC U 国際教育交流事業)	中華人民共和国	中国教員との交流・情報交換、各学校の視察	1				23.5.28～6.5 (9日間)	
	研究交流	アジア隣人プログラムのインドネシア共和国ボゴール農科大学附属コルニタ高等学校との協働活動、連携	インドネシア共和国	ゴミ問題についてのディスカッション・フィールドワーク (ゴミ拾い、処分場見学、ゴミのリサイクル活動見学など)			1	4	23.7.9～7.17 (9日間)、	
				ゴミ問題についてのディスカッション・フィールドワーク (清掃活動など)・研究発表			1	2	23.11.6～11.12 (8日間)	国際農学 ESD シンポジウム合同ポスター発表
				3R 活動のブックレット作成のための協議、現地小学校でのワークショップ開催	2	4			24.3.23～24.3.31 (9日間)	
	生徒間交流	日立環境 NPO プログラム「インドネシアにおける高校生によるアグロフォレストリーの地元連携産業活性化プロジェクト」	インドネシア共和国	現地高校生との協働による蜂蜜の採取、ジャム製作・販売など	1	2			23.8.18～8.24 (7日間)	
	研究交流	国際的視野に立った卒業研究の支援プログラム	インドネシア共和国	ゴミを原料とした堆肥づくりの研究、EPA に基づくインドネシア看護師・福祉士の日本への派遣の研究、ジャム作りによる地域の活性化の研究	2	3			23.12.22～24.1.8 (18日間)	生徒・教員とも前半・後半に分かれて渡航
	教員研修	教員の国際化プログラム	タイ	新たな校外学習の実施に向けた現地校との協議 (ワタナー・ウィタヤー・アカデミー)、研修候補地視察	2				24.2.26～24.2.29 (4日間)	
			台湾	新たな校外学習の実施に向けた現地校との協議 (新民高級中学)、研修候補地視察	2				24.3.1～24.3.3 (3日間)	
	生徒間交流	日本高校生台湾研修	台湾	台湾教育部が主催する日本高校生台湾研修に参加、学校訪問・ホームステイ・科学館見学・博物館見学など		1			23.11.20～11.26 (7日間)	
	生徒間交流	ESD 国際交流プログラム (ACC U 国際交流事業)	ドイツ・フランス	ESD をテーマに現地校生徒との交流、ユネスコ本部訪問など		1			24.3.23～24.3.31 (9日間)	
	教員研修・交流	タイ視覚障害児の理数科基礎教育に関する教員の質的向上支援プロジェクト	タイ	タイ国における視覚障害児の理数科教育の現状把握と日本における理数科教育に関しての教員対象の研修	7				23.8.6～8.14 (9日間)	

附属視覚特別支援学校	教員研修・交流	タイ視覚障害児の理数科基礎教育に関する教員の質的向上支援プロジェクト	タイ	理数科を中心に授業視察と研修および教員間交流			3	23.10.16～10.21 (6日間)	
	教員研修	特別支援教育研究センターのボリビア共和国からの短期研修生受け入れ	ボリビア共和国	ボリビアの特別支援教育に携わる教育関係者への授業視察提供と視覚障害教育の教育課程・教育内容・配慮事項等についての説明			4	23.11.7～1.16 (10日間)	
	教員研修	インド共和国における視覚障害者の職業教育支援	インド	インドにおける視覚障害者教育の現状を知るための実地調査及び視覚障害児のための理科実験のデモンストレーション	3			23.12.17～12.22 (6日間)	
	教員研修	特殊教育大学院における海外現場研修	韓国	大邱大学大学院生(現職教員)の授業視察と日本における視覚障害教育の現状についての説明			14	24.1.27	
	教員研修・交流	タイ視覚障害児の理数科基礎教育に関する教員の質的向上支援プロジェクト	タイ	タイ国において理数科の授業のデモンストレーションと教員への指導内容・方法等についての研修	4			24.3.24～30 (7日間)	
附属聴覚特別支援学校	教員研修	③特別支援教育研究センターのボリビア特別支援教育教員養成プロジェクト	ボリビア共和国	各学部授業参観。乳幼児教育相談の活動状況や発音・聴能等の指導の実際を説明。			6	23.11.7～11.18 (12日間)	
	研究交流	③フランス国立バリ聾学校との国際交流教育推進事業	フランス共和国	フランス国立バリ聾学校を訪問し、交流計画についての協議。	3			23.11.27～12.1 (4日間)	
	研究交流	①日本と台湾における聴覚障害児の体育担当者の指導力向上に向けた教材作成	台湾	聴覚障害児の体育的指導向上に向けた教材作成を目的とした協議(台湾国立台中聾学校・国立彰化師範大学)	4			23.12.27～12.29 (3日間)	本事業は3年計画の2年目
附属大塚特別支援学校	教員研修	①JICA南米3ヶ国視察	ボリビア・エクアドル・パラグアイ	南米3国の教師・専門職の授業			9	23.9.8-16 7日間	
	視察	JICA中西部アフリカ幼児教育研修	ブルキナファソ・カメルーン・マリ・セナガルの4カ国	アフリカ中西部の4国の幼児教育視察			10	23.12.13	
	視察	中国特別支援学校教員視察	中華人民共和国	中国浙江省海曙区の小中学校長と教育委員会の専門職の特別支援教育視察			16	23.10.24	
	視察	ボリビア教育省次官視察	ボリビア共和国	JICAからの依頼で視察受入			1	23.11.9	
	国際交流	韓国留学生との国際交流	韓国	本学の韓国留学生を学校に招いて、韓国のダンスを披露してもらう交流行事			学生2名	23.11.28	
	研究交流	研究協定校(大邱保明学校)への派遣	韓国	大邱保明学校へ校長・副校長他5名を研究交流のために韓国へ派遣する	6			24.3.21	
	教員研修	①JICA南米地域特別支援教育本校見学	ボリビア共和国・エクアドル・パラグアイ共和国	日本の特別支援教育を理解し、教師教育や学校及び教師の質向上のための多様なアプローチを理解させる			9	23.9.5～23.9.6	
	大学への協力	筑波大学教員研修留学生との国際交流授業実施	中華人民共和国・韓国・インドネシア・メキシコ・タイ・ガボン	留学生との共同作業(全体会、グループ活動及びスポーツ)を通して相手を理解・尊重するとともに、日本や各国の文化に関する理解を深める			9(留学生)	23.10.18	

附属桐が丘特別支援学校	研究交流 生徒間交流	①高等部生徒間交流及び教育間研究交流	韓国	教員が三育再活学校を訪問、教科指導に於ける手だて方法について情報交換	6	2			23.11.8～11.10 (3日間)	
	研究交流	②文部科学省特別支援教育総合推進事業による大韓民国の特殊教育の実情調査と意見交換	韓国	教員が三育再活学校、国立韓国特殊教育院外訪問し、学校現場の視察・意見交換を行い、今後の我が国の肢体不自由教育におけるより良い教育課程や指導のあり方を探る	3				23.11.22～11.25 (4日間)	
	生徒間交流 研究交流	①インターネットを通じた遠隔地授業実施	韓国	三育再活学校との教育実践研究ネットワークを構築するために教員間、生徒間の交流をすすめる。高等部生徒と三育再活学校生徒の遠隔地交流授業を実施					23.12.18	本事業は3年計画の2年目 インターネット回線を利用し、映像・会話での交流(派遣・受入なし)
附属久里浜特別支援学校	研究交流	中国寧波市達敏学校との国際交流協定書の締結、および自閉症教育研究会実施	中華人民共和国	中国寧波市達敏学校との国際交流協定書の締結、および自閉症教育研究会実施した。	3				23.8.28～8.31 (4日間)	穴戸和成校長松本末男副校長柘植美文教諭
	研究交流	中国寧波市教育視察団視察	中華人民共和国	自閉症教育のねらいと教育内容、配慮すべき事項等を指導案を元に授業を見ながら解説し、質問に答えながら研修を行った。			20		23.10.20	
	研究交流	日英自閉症児教育の実践研究にかかわる国際交流	英国	①本校における幼稚部指導について意見交換②英国における自閉症児教育の現状視察。ポートマン早期子どもセンター、レインボーファミリーセンター、ウールグロブ学校、クイーンエリザベスIIジュビリースクール視察	2				23.11.20～11.27 (8日間)	秋山真弓教諭 吉村郁子教諭

(9) 教員の海外派遣、海外からの教員研修の受入状況

本学附属学校の教員はJICA（国際協力機構）からの依頼等により、海外の学校に派遣される者がいる。
また、各附属学校においてはJICA（国際協力機構）等の依頼により、海外の学校関係者の視察を多く受け入れている。

附属学校教員の海外派遣（JICAへの協力による教員の海外派遣及びその他の派遣）

	人数	期間	国	事項
附属小学校	2	2011.4.29～5.6	イスラエル	イスラエル・ワインズマン研究所より招聘される（算数・数学教育）
	1	2011.5.11～5.15	ベトナム	算数研究会の講師
	1	2011.7.15～7.21	カンボジア王国	体育研究会の講師
	5	2012.10.8～10.12	韓国	釜山、光州、全州で授業交流会を行う
	6	2011.10.8～10.13	アメリカ合衆国	スタンフォード大学、ミルズ大学で授業交流会を行う
附属中学校	1	23.3.22～4.3	シンガポール	ホワチョン学校への短期留学生の引率
	1	23.3.18～3.24	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国ランカスターへの短期留学実施のための現地調査
	2	23.3.26～3.29	中国	中国北京ホイジア学校への短期留学実施のための視察
附属駒場中・高等学校	1	2012/3/23～3/31	アメリカ合衆国	ESD 日米青年交流プログラム日本訪問団引率
附属坂戸高等学校	1	23.4.22～23.5.7 (16日間)	アメリカ合衆国	2011年 ESD 日米教員交流プログラム
	1	23.5.28～23.6.5 (9日間)	中華人民共和国	中国政府日本教職員招聘プログラム（ACCU国際教育交流事業）
	2	24.2.26-24.2.29 (4日間)	タイ王国	教員の国際化プログラム

	2	24.3.1-24.3.3 (3日間)	台湾	教員の国際化プログラム
附属視覚特別支援学校	7	23.8.6～14 (7名) 24.3.24～30 (4名)	タイ	タイ国における視覚障害児の理数科教育の現状把握と日本における理数科教育に関する教員対象の研修

H23 海外からの教員研修の受入（JICAへの協力による海外の教員の受入及びその他の受入）

		期間	国名等	人数	事項
平成23年度	附属小学校	2011/6/18	JICA・中南米5カ国	12	算数科授業参観・講義（JICA）
		2011/9/9	JICA中国・アジア地域	12	算数科・理科授業参観（JICA）
		2011/11/8	JICA・国別研修	1	算数科授業参観
		2011/11/25	シンガポール共和国	12	算数授業参観（文化庁より）
		2012/2/5～2/25	JICA中南米	13	算数教授法改善10カ国13名・授業参観及び講義、来日研修員の授業及び協議会
		2011/11/28	WALS（国際授業研究会）	80	算数科・理科の授業研究会参観
		2012/1/17	韓国	47	算数科授業参観及び交流会
		2012/1/26	韓国	27	算数科授業参観及び交流会
		2012/2/16	APEC	100	算数科・理科の授業研究会参観
		2012/2/16	中国・東北師範学校附属小学校	24	算数科授業参観
		2011/・2/27	中国・成都市	3	教育視察
	附属中学校	2011/10/27	マレーシア	1	マレーシアからの授業参観（CRICED） 数学 10月27日
		2011/11/30	ミャンマー	2	ミャンマー教育相計画官、国立マグウェー大学教授の学校保健の視察
		2012/2/16	APEC 諸国	84	APEC 国際会議における授業研究と協議 2月16日（木）午前中 海外から100名
	附属高校	2012/1/26	韓国	2	韓国ハナ高校・授業参観および意見交換
	附属駒場中・高等学校	2011/10/3	モンゴル国（JICA）	15	授業参観・意見交換（モンゴル国子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト）
		2011/10/14	中国（ACCU）	30	ACCU（ユネスコ・アジア文化センター）中国職員招聘プログラムによる授業参観、意見交換等
	附属坂戸高等学校	2011/7/9-17	インドネシア共和国	1	トヨタ財団アジア隣人プログラム ディスカッション・授業見学など
		2011/11/6-12	インドネシア共和国	1	トヨタ財団アジア隣人プログラム 国際農学 ESD でのプレゼンテーションなど
		2012/1/13	大韓民国	30	ACCU 韓国教員招聘プログラム 授業参観・意見交換など
	附属視覚特別支援学校	2011/7/11～7/12	インド	1	視覚障害者の職業教育の実践について視察
		2011/7/13	ミャンマー・ヨルダン	2	日本障害者リハビリテーション協会受け入れの研修生の見学。職業教育の実践について視察・懇談
		2011/7/14	韓国	8	日本における盲ろう教育の現状について指導の実践と教室環境についての視察
		2011/9/13	ベトナム	10	ベトナム情報通信省・国家情報通信戦略局から視覚障害者の ICT 活用のための調査研修
		2011/11/8	ボリビア	1	JICA からの依頼により研修を行っているボリビア研修生の研修視察
	附属聴覚特別支援学校	2011/11/7～11/18	JICA ボリビア	6	授業参観・施設見学・意見交換等
	附属大塚特別支援学校	2011/9/2	JICA 南米地域	9	ボリビア・エクアドル・パラグアイの3国
		2011/9/8～9/16	JICA 南米地域	9	ボリビア・エクアドル・パラグアイの3国
		2011/12/13	JICA 中西部アフリカ	10	ブルキナファソ・カメルーン・マリ・セネガル4国からの幼児教育研修
		2011/10/24	中華人民共和国	16	浙江省海曙区の小中学校長と教育委員会専門職
	附属桐が丘特別支援学校	2011/9/5～9/6	JICA 南米地域	10	授業見学・研究関係説明等
	附属久里浜特別支援学校	2011/9/20,9/21	JICA 南米地域	9	地域別研修「特別支援教育コース研修」（JICA）
		2011/10/20	中国寧波市達敏学校	20	中国寧波市教育視察団視察

(10) 附属学校等出版物刊行状況（平成23年度に刊行したもの）

附属学校教育局及び各附属学校においては、これまで各附属学校の教育実践や教育研究に関する様々な出版物を刊行してきている。

所属	刊行物	主な配布先
附属学校教育局	附属学校教育局概要	学内関係部局、文部科学省、来訪者等
	附属学校教育局広報誌ポロニア	学内関係部局、文部科学省、来訪者等
	附属学校教育局データ集	学内関係部局、文部科学省、来訪者等
	筑波大学学校教育論集	国公立大学等
	筑波大学附属学校研究発表会 人とつながる・地域とつながる・異文化とつながる力を育てる－筑波大学附属学校からの発信－	学内関係部局、研究発表会参加者
	附属学校国際教育推進委員会報告書（第2集）国際教育が学校教育を豊かにする－附属学校の「国際教育拠点」構想実現のために－ 2009年度～2010年度	学内関係部局、文部科学省、国立大学等
	附属学校国際教育推進委員会報告書（第3集）国際教育が学校教育を豊かにする－附属学校の「国際教育拠点」構想実現のために－ 2011年度中間報告	学内関係部局、文部科学省
	国際理解・国際平和教育としてのオリンピック・パラリンピック教育－Excellence（卓越）・Friendship（友情）・Respect（尊敬）－	学内関係部局、文部科学省
	プロジェクト研究4報告書 国際的資質を育てる	学内関係部局、来訪者等
	四校研活動報告（平成22～23年度）「中期計画」中間まとめ－小中高一貫カリキュラムをめざして－	学内関係部局、来訪者等
附属小学校	学校要覧	関係職員等
	教育研究	
	研究紀要	研究会参加者、本校関係機関、研究関係者
附属中学校	学校要覧	学校参観者等
	所報	学内関係部局
	指導計画	教育実習生、学校参観者等
	研究紀要	国立大学附属中学校
	研究資料＜教育課程研究＞総合学習研究	国立大学附属中学校
	第39回研究協議会発表要項	研究協議会参加者・学内外関係者
附属高等学校	学校要覧	来校者、研究協議会参加者
	学校案内	来校者、学内説明会参加者
	附属だより	在籍生徒の保護者、関係教職員等
	研究紀要	文部科学省及び関係機関、国立大学附属学校学内関係者
附属駒場中・高等学校	学校要覧	学内関係部局、関係教職員、来訪者等
	学校案内	学内関係部局、関係教職員、来訪者等
	筑波大学附属駒場論集	国立大学附属中学校、附属高等学校学内関係部局、教育関係機関等
	教育研究大会報告書	教育研究会参加者、講師・助言者等
	筑波大学社会貢献プロジェクト筑駒アカデミア報告書	本校関係機関、学内関係部局、研究関係者
	スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書	SSH 関係学校、国立大学附属中学校、附属高等学校学内関係部局、教育関係機関等
	スーパーサイエンスハイスクール数学研究開発報告書	SSH 関係学校、学内関係部局、研究関係者教員研修参加者等
	スーパーサイエンスハイスクール数学科課題及び卒業論文集	SSH 関係学校、学内関係部局、研究関係者教員研修参加者等、研究論文著者（生徒）等
	スーパーサイエンスハイスクール数学科開発教材のまとめ	SSH 関係学校、学内関係部局、研究関係者教員研修参加者等
	スーパーサイエンスハイスクール数学科特別講座講義録	SSH 関係学校、学内関係部局、研究関係者教員研修参加者等
	スーパーサイエンスハイスクール数学科学研究会論文集	SSH 関係学校、学内関係部局、研究関係者教員研修参加者等
	スーパーサイエンスハイスクール生物テーマ研究論文集	生物テーマ研究論文著者（生徒）、他校理科（生物科）、研究関係者等
	スーパーサイエンスハイスクール交流枠支援教員研修「数学科教員研修会資料」	教員研修参加者等
	台湾研究交流会資料「Academic and Cultural Exchange Program in Taichung 2011」	研究交流参加生徒・教員（本校、国立台中第一高級中学）等

附属坂戸高等学校	学校要覧	学内外関係部局、関係教職員、来訪者等
	学校案内	入学希望者、来訪者等
	研究紀要	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校全国総合学科高等学校、埼玉県公立高等学校等
	総合学科研究大会資料集	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校全国総合学科高等学校、埼玉県公立高等学校等
附属視覚特別支援学校	「新時代の総合学科」	市販
	学校要覧	来校者、附属学校教育局、全国各盲学校関係各機関
	学校案内	入学希望者、全国各盲学校、各関係機関
	教育相談・支援パンフレット	通常学校、通常学校に在籍する視覚障害児の保護者、
	育児学級パンフレット	視覚障害乳幼児の保護者、幼稚園、保育園、家庭支援センター、各関係機関
	サポーターブック	通常学校、教育委員会等通常学校に在籍する視覚障害児の保護者
	視覚障害教育研究協議会資料集	視覚障害教育研究協議会参加者及び視覚障害教育関係機関
	研究紀要	文部科学省、学内関係者、全国各盲学校・視覚障害諸機関
	視覚教育ブックレット	文部科学省、学内関係者、全国各盲学校・視覚障害諸機関
	専攻科パンフレット	全国の盲学校、都内福祉事務所等関係諸機関
附属聴覚特別支援学校	東京盲聾学校発祥の地、日本点字制定の地記念碑建立パンフレット	文部科学省、学内関係者、全国盲学校
	学校要覧	各種関係機関、来訪者等
	乳幼児教育相談パンフレット	近隣医療機関等
	筑波大学附属聴覚特別支援学校紀要	公私立聾学校、各種関係機関等
	聴覚障害	公私立聾学校、各種関係機関等
附属大塚特別支援学校	ろう教育ははじめの一步—その理論と実践—	公私立聾学校、各種関係機関等
	学校要覧	学内関係部局、関係教職員、来訪者等
	研究紀要	特別支援学校（養護学校）、障害児教育研究機関学内関係部局
附属桐が丘特別支援学校	支援部研究紀要	特別支援学校（養護学校）、障害児教育研究機関学内関係部局
	学校要覧	学内関係者、関係教職員、教育委員会公立肢体不自由養護学校
	学校案内	学校参観者
	研究紀要	学内関係者・各関係機関、各附属学校公立肢体不自由養護学校
附属久里浜特別支援学校	「わかる」授業のための手だて 子どもに「できた」を実感させる指導の実践	学内関係者、関係教職員、来訪者等
	学校要覧	学内関係部局、関係教職員、来訪者等
	学校案内パンフレット	学内関係部局、関係教職員、来訪者等
	自閉症教育実践研究協議会資料集	自閉症教育実践研究協議会参加者
	自閉症教育実践研究協議会プレゼンテーション資料集・ポスター要旨集	知的障害養護学校等
	自閉症教育実践研究協議会授業公開指導案集 校報「きらきら」	自閉症教育実践研究協議会参加者 学内関係部局、関係教職員、保護者
附属久里浜特別支援学校	地域広報誌「のびのび」	近隣の町内会（地域住民）、保護者、教育関係機関、学内関係部局、関係教職員

4 特別支援教育の総合的支援体制の充実に係る具体的方策

(1) 超早期教育への取組状況

平成22年度より附属学校教育局の新規事業として、「超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業」が認められ、大塚特別支援学校を拠点に実施している。事業概要等は、以下のとおりである。

事業概要

1. 内容

知的障害児・重複障害児・発達障害児の早期発見・早期診断を行い、教育・指導方法のモデルとなる実践研究を展開し、効果的な指導の計画・方法並びに家庭や関係諸機関との円滑な連携について、「個別の教育支援計画」等に基づく超早期教育支援システムを構築し、その成果を全国に発信する。

2. 期間

平成22年度～平成24年度（3年）

3. 予算額

平成22年度	34,780千円
平成23年度	24,860千円
平成24年度	24,830千円（予定）
合 計	87,180千円

平成23年度の研究計画

平成23年度は平成22年度の成果に基づき、

- ①超早期の個別の教育支援計画様式の修正案の作成および家庭支援計画様式案の作成
- ②事例、支援の場に適した乳幼児教育アセスメントの開発
- ③地域の超早期段階の教育的支援方法の開発
- ④指導・支援における大学および附属特別支援学校との連携方法の検討

平成23年度委員会等実績

平成23年4月15日	第1回超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業推進委員会
平成23年11月18日	第2回超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業推進委員会
平成24年1月24日	第1回附属学校教育局倫理委員会
平成24年1月27日	第3回超早期段階における知的・重複・発達障害児に対する先駆的な教育研究モデル事業推進委員会
平成24年2月25日	大学附属研究発表会 中間報告

(2) 特別支援教育研究センターの取組状況

I. 設立の経緯と組織

文部科学省の「今後の特別支援教育の在り方（最終報告）」（平成15年3月）によって提言され、平成18年6月の学校教育法の改正によって平成19年4月より新たな教育制度として始まった特別支援教育は、「障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適

切な指導及び必要な支援を行なう」ことを目指している。

特別支援教育研究センターは、この特別支援教育の理念を踏まえ、筑波大学が擁する我が国最大の障害科学系等の研究組織と、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・自閉症の5つの附属特別支援学校という研究と実践の豊富な資源を基盤として、今後の特別支援教育の発展に資する様々な社会的要請に応える特別支援教育の研究拠点となることを目的として平成16年4月に設置された。

附属特別支援学校5校と大学院教育研究科特別支援教育専攻との連携は、本センターの事業の基盤を形作るものである。障害児教育に関わる「専門性の継承・発展・発信」「センター的機能の充実・発展」等を目的とし、大学院特別支援教育専攻、附属特別支援学校及びその他の関係機関との連携を支援するために、次の2点に重点をおき取り組んでいる。

- ・本学の研究部門と附属特別支援学校間との相互連携的活用の拠点
- ・様々な社会的要請に応える特別支援教育の連携拠点

本センターは筑波大学の学内共同教育施設として、附属学校教育局と人間系障害科学域との連携を基盤とし、人間系障害科学域所属の大学教員4名と附属特別支援学校教諭5名によって運営されている。

II. 平成23年度の事業

1. 連携・コーディネート事業

1) 附属特別支援学校間の連携研究の推進

- ・「小中学校の特別支援教室に求められる役割と機能について～特別支援教室における教材教具の支援マニュアルの開発～」
(附属大塚特別支援学校, 附属桐が丘特別支援学校)
- ・「視覚認知機能に課題を抱える肢体不自由児の算数・数学科の学習指導法の研究～視覚特別支援学校の算数・数学科の指導法を取り入れて～」
(附属桐が丘特別支援学校, 附属視覚特別支援学校)

2) 国際教育協力事業への協力

- ・JICA 本部「インクルーシブ教育を促進するためのターゲットグループを通じた教師養成」プロジェクト
- ・JICA 筑波「南米地域特別支援教育」プロジェクト

2. 研究開発事業

- 1) 開発国（南米等）における特別支援教育現職教員教育プログラムの開発と実践
- 2) 特別支援教育に関わる現職教育のカリキュラム研究
- 3) 現職教員研修のニーズ調査（海外も含む）
- 4) 特別支援教育の発展・充実に関する研究
- 5) アセスメントの開発研究

3. 理解啓発事業

1) センター主催セミナーの開催

- ・筑波大学重点公開講座
11月27日 筑波大学東京キャンパス文京校舎 1階大講義室 参加者60名
テーマ「大震災から学ぶ障がいの理解と支援」
話題提供 宮城県立視覚特別支援学校教諭
関西国際大学教授
指定討論 筑波大学特別支援教育研究センター教授
附属視覚特別支援学校長
- ・第13回 シリーズ：特別支援教育の展開（2）

3月26日 筑波大学東京キャンパス文京校舎 1階大講義室 参加者95名

講演 筑波大学人間系（障害科学域）教授

筑波大学人間系（障害科学域）教授

附属特別支援学校間連携研究報告

「「見えにくさ」のある肢体不自由児に対する社会科指導」

附属桐が丘特別支援学校・附属視覚特別支援学校

「視覚認知機能に課題を抱える肢体不自由児の算数・数学科の指導法の研究—視覚特別支援学校の算数・数学の指導法を取り入れて—」

附属桐が丘特別支援学校。附属視覚特別支援学校

「発達障害や重複障害がある幼児のアセスメントと支援方法，園へのコンサルテーションの在り方に関する研究（2）—座位の保持や移動に困難を抱える知的障害児の事例を通して—」

附属大塚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校。

「小中学校の「特別支援教室」に求められる役割と機能について（1，2）—附属学校の教材教具の集約と，それを整備したリソースルームの試み—」

附属大塚特別支援学校・附属視覚特別支援学校

2）研究交流セミナーの開催（人間系障害科学域との共催）

1月5日 筑波大学東京キャンパス文京校舎 1階大講義室 参加者48名

テーマ「開発国の特別支援教育支援」

基調講演 「アフガニスタン等への教育支援から」

筑波大学教育開発国際協力センター教授

報告 「今後の国際協力における教育支援に関する展望」

JICA 国際協力専門員

「南米地域を対象とした研修の概要とその課題」

JICA 筑波国際センター研修業務・市民参加協力課

「南米3ヵ国からの研修生への対応から」

特別支援教育研究センター

指定討論 筑波大学障害科学系長

3）「筑波大学特別支援教育研究」第6巻の発刊（3月）

4．教員研修事業

1）現職教員研修事業の運営

・現職教員研修生4名（千葉県2名・静岡県1名・栃木県1名（各教育委員会からの推薦・派遣）の受け入れ

・センター教員による講義（10回）

・センター教諭による演習（15回）

・附属聴覚特別支援学校，附属大塚特別支援学校，附属桐が丘特別支援学校における実習・研修

・筑波大学大学院教育研究科特別支援教育専攻等の講義の聴講

2）免許法認定公開講座の運営（第1欄及び第3欄）

「特別支援教育の基礎理論」 受講者数 54名

「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」 受講者数 68名

7月25日～30日 東京キャンパス神保町地区

5．広報活動

1）センターパンフレットの発行（6月）

- 2) SNERC 通信の発行（5月, 10月, 12月, 3月）
 - 3) ホームページの運営および管理
6. 外部及び学内資金導入研究（事業）
- 1) 文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「南米ボリビア国の障害児教育における教師教育モデルの構築と展開」（平成23～24年度）
 - 2) 筑波大学革新的な教育プロジェクト「開発国（南米等）における特別支援教育現職教員教育プログラムの開発と実践（1）」
7. 運営及び各種委員会への出席
- 1) 筑波大学特別支援教育研究センター運営委員会の開催
 - 2) 5 部門会議の開催
 - 3) スタッフ会議の開催（毎週木曜日）
 - 4) 各種委員会等への出席
 - ・国際教育推進委員会
 - ・局情報環境委員会
 - ・支援教育推進委員会
 - ・普通・特別支援附属連携推進委員会
 - ・免許状更新講習「東京地区」推進委員会
 - ・「科学の芽賞」実行委員会
 - ・広報戦略推進委員会
 - ・統合キャンパス検討委員会 WG
 - ・超早期モデル事業推進委員会

5 社会貢献・地域連携

(1) 研修会・公開講座の実施状況〔平成23年度〕

本学附属学校では、多くの研修会や公開講座等を実施している。

区 分	名称	開催日	会場	参加対象者	参加者数
附属小学校 附属中学校 附属高等学校	第5回 算数・数学科合同研究会	2011/7/9（土）	附属小学校	初等中等教育諸学校の教職員、大学の教職員その他	90
	第7回 保健体育科合同研究会	2012/1/21（土）	附属小学校	初等中等教育諸学校の教職員、大学の教職員その他	70
附属中学校	なし				
附属駒場中・高等学校	平成23年度筑駒アカデミア第1回講演会「連鎖する中東の政変」	2011年10月15日	附属駒場中・高等学校	世田谷区民、目黒区民など	120
	平成23年度筑駒アカデミア第2回講演会「震災後の原子力発電所で産業医として行った公衆衛生・予防医学活動」	2011年12月17日	附属駒場中・高等学校	世田谷区民、目黒区民など	81
	平成23年度筑駒アカデミア第3回講演会「発達障がい理解と対応をめぐってーLD・ADHD・高機能自閉症（アスペルガー症候群）の正しい理解ー」	2012年1月14日	附属駒場中・高等学校	世田谷区民、目黒区民など	134
	平成23年度筑駒アカデミア公開講座「筆ペンで古典をなぞる」「食べ物から見える世界の歴史」「ネイティブと話そうー英語でコミュニケーション・入門編ー」「さあ、ジャグラーへの一步をふみだそう」「ブラインドサッカー」「将棋を楽しむー対局とプロ棋士による講座ー」「えんげきまんがやってくる」「親子でやってみよう 裁判員裁判」「身近な色を調べてみよう」「目の中を見てみようーブタの眼球の解剖ー」「化石のレプリカを作ろう」	2012年3月24日	附属駒場中・高等学校	世田谷区民、目黒区民など	約200
	数学科教員研修会 in 筑駒	2012年3月4日	附属駒場中・高等学校	S S H校などの中高の数学科教員	97
附属坂戸高等学校	食育体験教室	8月6日（土）	附属坂戸高等学校	坂戸市民	18
	演劇の照明・音響講習会①	1月27日（金）	附属坂戸高等学校	川越・坂戸地区演劇部	40
	演劇の照明・音響講習会②	3月24日（土）	附属坂戸高等学校	川越・坂戸地区演劇部	80
	坂戸市福祉協議会へのイベントのためのワークショップを兼ねた実践	12月17日（土）	坂戸市文化施設「オルモ」	坂戸市内福祉団体職員	85
附属視覚特別支援学校	歩行指導者研修会	7月25日～29日	同校	視覚特別支援学校教諭	27
	文部科学省委託事業「盲学校理学療法科担当教員講習会」	2011年8月1日～3日	同校	視覚特別支援学校理学療法科担当教諭	14
	理数系教員指導力向上研修会	8月4日～5日	同校	視覚特別支援学校教諭等、視覚障害のある児童生徒の指導に携わっている教諭	25
	点字指導者研修会	9月10日～11日	同校	視覚特別支援学校教諭等、視覚障害のある児童生徒の指導に携わっている教諭	17
	公開講座「盲・弱視児童生徒理科実験指導研修講座」	2012年2月16日～17日	同校	視覚特別支援学校教諭等、視覚障害のある児童生徒の指導に携わっている教諭	16
附属聴覚特別支援学校	関東地区聾教育研究会「聾教育実践研修会」	2011年6月16日～17日	同校	特別支援学校（聴覚障害）教員等	123
	公開講座「聴覚障害・発音指導研修講座」	2011年8月1日～3日	東京キャンパス（神保町地区）	特別支援学校（聴覚障害）・特別支援学級（難聴・言語障害）教員等	53
	文部科学省委託事業「聴覚障害教育担当教員講習会」	2011年11月24日～26日	同校	特別支援学校（聴覚障害）・特別支援学級（難聴・言語障害）教員等	68
	聴覚障害早期教育公開研修会	2012年2月24日	同校	地域の保健師、保育士、言語聴覚士、教員、看護師、助産師など聴覚障害の早期発見から療育に関係する専門職	28

附属大塚 特別支援学校	公開講座「特別支援教育における個のニーズに基づく授業づくりプロセス～ティームティーチングと授業評価」	2011年7月26日 ～28日	同校	特別支援教育に携わる教員	19
	ボランティア養成講座Ⅰ	2011年6月19日 (演習6/21、22、 7/7、14)	同校	学生・一般	10
	公開研修「特別な支援を必要とする子の理解と援助―よりよい支援のための実技と演習―」	2011年7月30日 ～31日	同校	特別支援教育に携わる教員・ 保育士等	51
	ボランティア養成講座Ⅱ	2011年7月24日 (演習8/28、9/8、 13、25、29、10 /14、16)	同校	学生・一般	10
	公開講座「自閉症児における社会性支援プログラムの実際」	2011年8月2日 ～8月3日	東京キャンパス (神保町地区)	特別支援教育に携わる教員	49
附属桐が丘 特別支援学校	公開講座「障害児に対する動作法実習」	2011年6月18日 ～19日	同校	教育関係者等	17
	自立活動実践セミナー2011	2011年8月1日 ～3日	同校	教育関係者等	125
	公開講座「静的弛緩誘導法による障害の重い子の成長・発達の援助」	2011年9月17日 ～18日	同校	教育関係者等	31
	公開講座「教師のためのデータ分析法」	2011年8月18日 ～19日	同校	教育関係者等	22
	公開講座「特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援」	2011年12月17日 ～18日	同校	教育関係者等	24
附属久里浜 特別支援学校	世界自閉症デー in 横須賀「自閉症の世界を知ろうよ」	2011年4月16日	横須賀市立総合高校	一般市民	200
	公開セミナー「自閉症を持つ人とのコミュニケーション」DIR/Floortime モデルによる自閉症の療育プログラム」	2011年12月3日	横須賀市立総合高校	保護者、障害支援に当たっている関係者	52
附属学校教育局	平成23年度 附属学校教育局春期研修会	2012年3月25日	附属学校教育局	初等中等教育諸学校の教職員、 大学の教職員その他	113
特別支援教育研究 センター	免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」	2011年7月25日 ～26日	東京キャンパス (神保町地区)	・特別支援学校教諭の二種免許状を有し、在職年数3年以上の教員	54
	免許法認定公開講座「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」	2011年7月27日 ～30日	東京キャンパス (神保町地区)	・小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、在職年数3年以上の教員 ・当該教育に関心のある者	68
合計					2,231

6 管理運営

(1) 附属学校児童生徒等定員等一覧表（平成23年度）

本学附属学校の幼児・児童・生徒数は11校で4,310人である。

学 校 名 等		学年数	組 数	学年定員	現 員
附属小学校		1 学年	4	160	160
		2 学年	4	160	157
		3 学年	4	160	157
		4 学年	4	160	158
		5 学年	4	160	158
		6 学年	4	160	157
	計		24	960	947
附属中学校		1 学年	5	200	205
		2 学年	5	200	204
		3 学年	5	200	203
	計		15	600	612
附属駒場中学校		1 学年	3	120	123
		2 学年	3	120	123
		3 学年	3	120	123
	計		9	360	369
附属高等学校		1 学年	6	240	239
		2 学年	6	240	240
		3 学年	6	240	240
	計		18	720	719
附属駒場高等学校		1 学年	4	160	164
		2 学年	4	160	166
		3 学年	4	160	161
	計		12	480	491
附属坂戸高等学校		1 学年	4	160	159
		2 学年	4	160	160
		3 学年	4	160	156
	計		12	480	475
	幼稚部	3・4 歳児	1	5	5
		5 歳児	1	5	5
		計	2	10	10
	小学部	1 学年	1	6	2
		2 学年	1	6	3
		3 学年	1	6	4
		4 学年	1	6	2
		5 学年	1	6	5
		6 学年	1	6	1
		計	6	36	17
		複式学級 1 学年	1	6	2
		複式学級 2 学年			3
		複式学級 3 学年			1
		複式学級 4 学年	1	6	3

附属視覚特別支援学校			複式学級 5 学年			1
			複式学級 6 学年			1
			計	2	12	11
			特別学級 1 学年	1	3	3
			特別学級 2 学年			2
			特別学級 3 学年			1
			特別学級 4 学年	1	3	0
			特別学級 5 学年			0
			特別学級 6 学年			0
			計	2	6	6
			小学部計	10	54	34
			中学部		盲 1 学年	1
	盲 2 学年	1			6	6
	盲 3 学年	1			6	6
	計	3			18	16
	弱 1 学年	1			6	7
	弱 2 学年	1			6	6
	弱 3 学年	1			6	5
	計	3			18	18
	中学部計	6			36	34
	高等部		普 1 学年	2	16	17
			普 2 学年	2	16	16
			普 3 学年	2	16	15
			計	6	48	48
			音 1 学年	1	8	4
			音 2 学年			
			音 3 学年			
			計	1	8	4
			高等部計	7	56	52
	専攻科	鍼灸手技療法科	1 学年	2	16	16
			2 学年	2	16	15
			3 学年	2	16	13
			計	6	48	44
		音楽科	1 学年	1	8	1
			2 学年	1	8	3
			計	2	16	4
		理学療法科	1 学年	1	8	3
			2 学年	1	8	4
			3 学年	1	8	6
			計	3	24	13
		鍼灸手技療法研修科	1 学年	1	8	4
			計	1	8	4
		専攻科計		12	96	65
	計			37	252	195
	幼稚部		3 歳	3	15	10
			4 歳	3	15	7
			5 歳	3	15	14

附属聴覚特別支援学校			計	9	45	31
	小学部		1 学年	2	12	12
			2 学年	2	12	11
			3 学年	2	12	11
			4 学年	2	12	12
			5 学年	2	12	13
			6 学年	2	12	11
			計	12	72	70
	中学部		1 学年	2	12	14
			2 学年	2	12	15
			3 学年	2	12	18
			計	6	36	47
	高等部		1 学年	3	24	27
			2 学年	3	24	26
			3 学年	3	24	26
			計	9	72	79
	専攻科	造形芸術科	1 学年	1	8	4
			2 学年	1	8	2
			計	2	16	6
		ビジネス情報科	1 学年	1	8	4
			2 学年	1	8	4
			計	2	16	8
		歯科技工科	1 学年	1	10	5
			2 学年	1	10	5
			3 学年	1	10	4
			計	3	30	14
		専攻科計		7	62	28
	計			43	287	255
附属大塚特別支援学校	幼稚部		3 歳	1	5	4
			4 ・ 5 歳	1	5	5
			計	2	10	9
	小学部		普 1 学年	1	6	3
			普 2 学年			3
			普 3 学年	1	6	3
			普 4 学年			2
			普 5 学年	1	6	3
			普 6 学年			2
			計	3	18	16
			特 1 学年	1	3	0
			特 2 学年			1
			特 3 学年			1
			特 4 学年	1	3	1
			特 5 学年			1
			特 6 学年			1
			計	2	6	5
			小学部計	5	24	21

附属桐が丘特別支援学校	本校	小学部	1 学年	1	6	6
			2 学年	1	6	5
			3 学年	1	6	7
			計	3	18	18
			1 学年	1	8	8
			2 学年	1	8	8
			3 学年	1	8	8
			計	3	24	24
			計	13	76	72
			普 1 学年	1	6	5
			普 2 学年	1	6	4
			普 3 学年	1	6	2
			普 4 学年	1	6	4
			普 5 学年	1	6	3
			普 6 学年	1	6	6
			計	6	36	24
			特 1 学年	1	3	0
			特 2 学年			2
			特 3 学年	1	3	2
			特 4 学年			1
			特 5 学年	1	3	4
			特 6 学年			0
			特 1 学年	1	3	1
			特 2 学年			1
			特 3 学年			1
			特 4 学年	1	3	0
			特 5 学年			0
			特 6 学年			2
			計	5	15	14
			小学部計	11	51	38
		中学部	普 1 学年	1	6	6
			普 2 学年	1	6	7
			普 3 学年	1	6	6
			計	3	18	19
			特 1 学年	1	3	3
			特 2 学年	1	3	1
			特 3 学年	1	3	3
			特 1 学年	1	3	1
			特 2 学年			2
			特 3 学年			1
			計	4	12	11
			中学部計	7	30	30
			普 1 学年	1	8	8
			普 2 学年	1	8	7
			普 3 学年	1	8	9
			計	3	24	24
			特 1 学年	1	3	4

		高等部	特 2 学年	1	3	2	
			特 3 学年	1	3	1	
			特 1 学年	1	3	0	
			特 2 学年			0	
			特 3 学年			0	
			計	4	12	7	
			高等部計	7	36	31	
			本校計		25	117	99
附属桐が丘特別支援学校	施設併設学級	小学部	普 1 学年	1	6	0	
			普 2 学年			1	
			普 3 学年			1	
			普 4 学年			0	
			普 5 学年			2	
			普 6 学年			0	
			計	1	6	4	
			特 1 学年	1	3	4	
			特 2 学年			6	
			特 3 学年			2	
			特 4 学年	1	3	0	
			特 5 学年			1	
			特 6 学年			1	
			計	2	6	14	
			小学部計	3	12	18	
			中学部	普 1 学年	1	6	0
				普 2 学年			1
				普 3 学年			1
		計		1	6	2	
		特 1 学年		1	3	1	
		特 2 学年				0	
		特 3 学年				1	
		計		1	3	2	
		中学部計		2	9	4	
		高等部	特 1 学年	1	3	1	
			特 2 学年			0	
			特 3 学年			1	
			計	1	3	2	
		施設併設学級計		6	24	24	
		計			31	141	123
附属久里浜特別支援学校	幼稚部	3 歳	2	6	4		
		4 歳	2	6	6		
		5 歳	2	6	6		
		計	6	18	16		
	小学部	1 学年	2	6	6		
		2 学年	2	6	6		
		3 学年	2	6	6		
		4 学年	2	6	6		

		5 学年	2	6	6
		6 学年	2	6	6
		計	12	36	36
	計		18	54	52
附属学校合計			232	4,410	4,310

(2) 附属学校教員現員数

本学附属学校の教員数（校長等含む。）は541名である。

附属学校教員現員数〔平成24年 4 月 1 日現在〕

学校名	校長	副校長 主幹教諭 教諭	養護教諭	栄養教諭	寄宿舍 指導員	実習助手	合計
附属小学校	1	34	1	1			37
附属中学校	1	29	1				31
附属駒場中学校	1	15	1				17
附属高等学校	1	41	1				43
附属駒場高等学校	(1)	28	1				29
附属坂戸高等学校	1	37	1			3	42
附属視覚特別支援学校	1	83	1	1	17		103
附属聴覚特別支援学校	1	85	1		9		96
附属大塚特別支援学校	1	36	1	1			39
附属桐が丘特別支援学校	1	63	1	1			66
附属久里浜特別支援学校	1	30	1	1	5		38
合計	10	481	11	5	31	3	541

※ 1 再雇用教員を含む。

※ 2 契約職員（教諭）を含む。

※ 3 駒場中学校と駒場高等学校の校長は兼任である。

所在地・連絡先

部 局 名	所 在 地	電話番号
附属学校教育局	〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1	03-3942-6800
附属小学校	〒112-0012 東京都文京区大塚 3 丁目29-1	03-3946-1391
附属中学校	〒112-0012 東京都文京区大塚 1 丁目 9-1	03-3945-3231
附属高等学校	〒112-0012 東京都文京区大塚 1 丁目 9-1	03-3941-7176
附属駒場中学校	〒154-0001 東京都世田谷区池尻 4 丁目 7-1	03-3411-8521
附属駒場高等学校	〒154-0001 東京都世田谷区池尻 4 丁目 7-1	03-3411-8521
附属坂戸高等学校	〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 1 丁目24-1	049-281-1541
附属視覚特別支援学校	〒112-0015 東京都文京区目白台 3 丁目27-6	03-3943-5421
附属聴覚特別支援学校	〒272-8560 千葉県市川市国府台 2 丁目 2-1	047-371-4135
附属大塚特別支援学校	〒112-0003 東京都文京区春日 1 丁目 5-5	03-3813-5569
附属桐が丘特別支援学校	〒173-0037 東京都板橋区小茂根 2 丁目 1-12	03-3958-0184
附属久里浜特別支援学校	〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1-2	046-848-3441
特別支援教育研究センター	〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1	03-3942-6923
理療科教員養成施設	〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1	03-3942-6890